

○沼津工業高等専門学校学則
(昭和 37.4.1 制定)
最終改正 令和 . .

第 1 章 本校の目的

第 1 条 本校は、教育基本法にのっとり、学校教育法に基づいて、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

第 2 章 修業年限、学年、学期、休業日

第 2 条 修業年限は、5 年とする。

第 3 条 学年は、4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 3 1 日に終わる。

第 4 条 学年を分けて、次の二期とする。なお、校長が必要と認めたときは、これらの期間を変更することがある。

前期 4 月 1 日から 9 月 3 0 日まで

後期 1 0 月 1 日から 3 月 3 1 日まで

第 5 条 休業日は、次のとおりとする。なお、校長が必要と認めたときは、これらの休業日を授業日に振り替えることがある。

(1) 国民の祝日に関する法律に規定する休日

(2) 土曜日及び日曜日

(3) 開校記念日 4 月 2 0 日

(4) 春季休業

(5) 夏季休業

(6) 冬季休業

(7) 学年末休業

2 前項第 4 号から第 7 号までに規定する休業日の終始及び臨時の休業日は、校長がその都度定める。

第 6 条 授業終始の時刻は、校長が別に定める。

第 3 章 学科、学級数、入学定員及び教職員

第 7 条 学科・学級数、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学 科	学級数	入学定員	収容定員
先 端 理 工 学 科	5	2 0 0 人	1 , 0 0 0 人

- 2 前項に規定する学科に、次の学類を設け、学類の募集人員は次のとおりとする。
 - (1) 数理情報工学類 80人
 - (2) 機械システム工学類 40人
 - (3) 電気電子システム工学類 40人
 - (4) 化学生命工学類 40人
 - 3 前項第1号に規定する学類に、第4学年から次のコースを設ける。
 - (1) 情報システム工学コース
 - (2) 数理情報科学コース
 - 4 前二項に規定する学類及びコースの選択、決定方法等については、別に定める。
 - 5 前三項の規定にかかわらず、校長が教育上有益と認めるときは、異なる学類及びコースの学生をもって学級を編成することができる。
 - 6 第2項第2号から第4号までに規定する学類に、第3学年から次のプログラムを設ける。
 - (1) 知能システム創造プログラム
 - (2) 情報技術融合プログラム
 - (3) 先端科学プログラム
 - 7 前項に規定するプログラムの選択、決定方法等については、別に定める。
- 第8条 本校に、校長・教授・准教授・講師・助教・助手・事務職員及び技術職員を置く。
- 2 職員の職務は、学校教育法その他法令の定めるところによる。
- 第9条 本校に教務主事、学生主事及び寮務主事を置く。
- 2 教務主事は、校長の命を受け、教育計画の立案その他教務に関することを掌理する。
- 3 学生主事は、校長の命を受け、学生の厚生補導に関すること(寮務主事の所掌に属するものを除く。)を掌理する。
- 4 寮務主事は、校長の命を受け、学生寮における学生の厚生補導に関することを掌理する。
- 第10条 本校に事務を処理するため、事務部を置く。
- 第11条 前3条に規定するもののほか、本校の組織に関する事項は、別に定めるところによる。

第4章 教育課程等

- 第12条 1年間の授業期間は、定期試験等を含め、35週にわたることを原則とする。
- 第13条 教育課程は、授業科目及び特別活動により編成するものとする。
- 2 授業科目及びその履修単位数は別表第1及び第2のとおりとする。
- 第14条 授業科目の単位は、30単位時間の履修をもって1単位として計算するものとする。
- 2 1単位時間は50分を標準とする。
- 3 前項の規定にかかわらず、本校が定める授業科目については、1単位の授業科目を45

時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行う授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、おおむね15時間から45時間までの範囲で本校が定める時間の授業をもって1単位として単位数を計算することができる。

4 前項の規定により計算することのできる授業科目の単位数の合計数は、60単位を超えないものとする。

5 前4項の規定にかかわらず、卒業研究については学修の成果を評価し単位数を定めることができる。

6 第1項に定める授業科目のほか、特別活動を90単位時間以上実施するものとする。

第14条の2 多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所での授業の方法により修得した単位は、60単位を超えない範囲で卒業に必要な単位の中に算入することができる。

第15条 各学年の課程の修了を認めるにあたっては、学生の平素の成績を評価して行うものとする。

2 校長は特別の理由があり、かつ、教育上支障がないと認められるときは、第3条に規定する学年の途中においても、学期の区分に従い、各学年の課程の修了を認めることができる。

第16条 前条の認定の結果、原学年にとどめられた者は、当該学年に係る全授業科目を再履修するものとする。

第17条 正当な理由なく、同一学年に2年を超えて在学することができない。

第18条 校長は、教育上有益と認めるときは、学生の他の高等専門学校における履修を許可し、修得した単位を、60単位を超えない範囲で本校における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 校長は、教育上有益と認めるときは、学生が行う大学における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本校における授業科目の履修とみなし単位の修得を認定することができる。

3 前項により認定することができる単位数は、第1項により本校において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第18条の2 校長は教育上有益と認めるときは、学生が外国の高等学校又は大学に留学することを許可することができる。

2 校長は、前項の規定により留学することを許可した学生について、外国の高等学校又は大学における履修を本校における履修とみなし、前条第1項及び第2項により本校において修得したものとみなし、又は認定する単位数と合わせて60単位を超えない範囲で単位の修得を認定することができる。

3 前項に関し、必要な事項は別に定める。

第5章 入学、転学類、休学、退学及び転学

第19条 入学することのできる者は、次の各号の一に該当するものとする。

- (1) 中学校を卒業した者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者
- (3) 義務教育学校を卒業した者
- (4) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (7) 就学義務猶予免除者の中学校卒業程度認定規則(昭和41年文部省令第36号)により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (8) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

第20条 校長は、入学志望者について、学力検査の成績、出身学校の長から送付された調査書その他必要な書類等を資料として入学者の選抜を行う。

2 校長は、前項の選抜の結果に基づき、第33条に規定する入学料を納付した者に対して入学を許可する。ただし、入学料免除の申請書を受理された者にあつては、この限りでない。

第21条 第2学年以上に入学を希望する者があるときは、その者が相当年齢に達し、当該学年に在学する者と同等以上の学力があると認められた場合は前条の規定に準じ、相当学年に入学を許可することがある。

2 校長は特別の必要があり、かつ、教育上支障がないときは、第3条に規定する学年の途中においても、学期の区分に従い入学を許可することができる。

3 第1学年の途中に入学を希望する者があるときは、第1項の規定に準じ入学を許可することがある。

第22条 入学を許可された者は、所定の期日までに、在学期間中の保護者等と連署した誓約書及び校長が定めた書類を提出しなければならない。

2 前項の手続きを終了しない者があるときは、校長は、その入学の許可を取り消すことがある。

第23条 転学類を希望する者があるときは、校長は、学年の始めにおいて、選考の上第3学年までに限り、転学類を許可することがある。

第24条 学生は、疾病その他やむを得ない事由により、3か月以上継続して修学することができないときは、校長の許可を受けて休学することができる。

第25条 休学の期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることができる。

2 休学期間は、通算して2年を越えることができない。

第26条 休学した者は、休学の事由がなくなったときには、校長の許可を受けて復学することができる。

第27条 学生に伝染病その他の疾病があるときは、校長は、出席停止を命ずることがある。

第28条 学生は疾病その他やむを得ない事由により退学しようとするときは、校長の許可を受けて、退学することができる。

2 前項の規定により退学した者で、再入学を希望する者があるときは、校長は選考の上、相当学年に入学を許可することができる。

第29条 他の学校に入学・転学又は編入学を希望しようとする者は、校長の許可を受けなければならない。

第6章 卒業

第30条 校長は、全学年の課程を終了し、167単位以上(一般科目75単位以上、専門科目82単位以上)で別に定める単位を修得した者について、卒業を認定し、所定の卒業証書を授与する。

2 校長は、特別の理由があり、かつ、教育上支障がないと認められるときは、第3条に規定する学年の途中においても、学期の区分に従い、卒業を認めることができる。

3 前2項の規定に基づき卒業を認めるにあたっては、学生の平素の成績を評価して行うものとする。

第31条 卒業した者は準学士(工学)と称することができる。

第7章 検定料、入学料、授業料及び寄宿料

第32条 入学を志願する者は、願書提出と同時に、独立行政法人国立高等専門学校機構における授業料その他の費用に関する規則(平成16年独立行政法人国立高等専門学校機構規則第35号。以下「費用規則」という。)に定める検定料を納付しなければならない。

第33条 入学料は、費用規則に定める額とし、入学を許可されるときに納付するものとする。

第34条 学生は、費用規則に定める授業料を前期及び後期の2期に区分して納付するものとし、それぞれの期において納付する額は、年額の2分の1に相当する額とする。

2 前項の授業料は、学校が指定する期日までに納付するものとする。

3 学生は、前2項の規定にかかわらず、前期に係る授業料を納付するときに、当該年度の後期に係る授業料を併せて納付することができる。

4 入学年度の前期又は前期及び後期に係る授業料については、第1項及び第2項の規定にかかわらず、入学を許可されたときに納付することができる。

第35条 既納の検定料、入学料、授業料及び寄宿料は返還しない。ただし、第34条第4項の規定に基づき授業料を納付した者が3月31日までに入学を辞退した場合及び第3

4条第3項又は第4項の規定に基づき後期分授業料を納付した者が後期分授業料納付時期前に休学又は退学した場合には、申し出により当該授業料相当額を返還する。

第36条 学年の中途において入学した者が、前期又は後期において納付する授業料の額は、授業料の年額の12分の1に相当する額に、入学の日の属する月から次の納付時期前までの月数を乗じて得た額とし、入学の日の属する月に納付するものとする。

第37条 学年の途中で退学する者は、退学する日の属する時期が前期であるときは、授業料の年額の2分の1に相当する額の授業料を、退学する日の属する時期が後期であるときは、授業料の年額に相当する額の授業料をそれぞれ納付するものとする。

第38条 学生寮に入寮している学生は、入寮した日の属する月から退寮する日の属する月までの間、費用規則に定める寄宿料を納付するものとする。

第39条 経済的理由によって授業料等の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められるとき、その他やむを得ない事情があると認められるときは、別に定めるところにより、入学料、授業料及び寄宿料の全部若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することがある。

第8章 学生準則及び賞罰

第40条 学生は、この学則に定めるもののほか、別に定める学生準則を遵守しなければならない。

第41条 学生として表彰に値する行為があるときには、表彰することがある。

第42条 本校の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、校長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当の理由がなくて出席常でない者

(4) 学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 停学の期間は、在学期間に算入し、修業年限に算入しない。ただし、各停学期間が1か月以内である場合は、修業年限に算入するものとする。

5 懲戒に関し、必要な事項は別に定める。

第43条 次の各号の一に該当する者は、校長がこれを除籍する。

(1) 長期間にわたり行方不明の者

(2) 第25条に規定する休学期間を越えてなお修学できない者

(3) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

(4) 第20条第2項に規定する入学料免除の申請書を受理され、免除を不許可とされた者及び半額免除の許可をされた者で、所定の期日までに入学料を納付しない者

第9章 専攻科

第44条 本校に専攻科を置く。

第45条 専攻科は、高等専門学校教育における成果を踏まえ、研究指導を通じた工学に関する深い専門性を基に、創造的な知性と視野の広い豊かな人間性を備えた技術者を育成するとともに、産業社会との学術的な協力を基礎に教育研究を行い、もって地域社会の産業と文化の進展に寄与することを目的とする。

第46条 専攻科の専攻、入学定員、収容定員及びコースは、次のとおりとする。

専攻	入学定員	収容定員	コース
総合システム工学専攻	24人	48人	環境エネルギー工学コース
			新機能材料工学コース
			医療福祉機器開発工学コース

第46条の2 専攻科において、大学と連携して行う教育プログラムを実施することができる。

2 前項に規定する教育プログラムの実施に関し、必要な事項は別に定める

第46条の3 専攻科に、当該専攻科の授業及び専攻科研究論文の作成等に対する指導を担当させるため、専攻科担当教員を置く。

第47条 専攻科に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができるもの
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) その他本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

第48条 校長は、専攻科の入学志願者について、別に定めるところにより選考の上、入学を許可する。

第48条の2 専攻科の教育は、講義・演習・実験・実習及び専攻科研究論文の作成等に対

する指導によって行うものとする。

第49条 専攻科の授業科目及びその単位数は別表第3のとおりとする。

第50条 専攻科の修業年限は、2年とする。ただし、4年を超えて在学することはできない。

2 前項の規定にかかわらず、校長は、特別の理由がある場合は、学生が修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的な教育課程の履修により修了することを申し出た時は、4年の範囲内で修業年限を超えて履修することを認めることができる。ただし、6年を超えて在学することはできない。

3 前項により計画的な履修を認められた学生（以下「長期履修学生」という。）又は第1項の修業年限在学することが予定される学生が、特別な理由により修業年限の変更を希望する場合は、年度を単位とし、校長の承認を受けなければならない。

第51条 専攻科の学生の休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、休学期間の延長を認めることがある。

2 休学期間は、通算して2年を超えることができない。

3 休学期間は、前条に定める修業年限及び在学期間に算入しない。

第52条 校長は、次の各号に掲げる要件を満たした者について、修了を認定し、所定の修了証書を授与する。

（1）専攻科に2年以上在学した者

（2）所定の授業科目を履修し、62単位以上を修得した者

（3）別に定める技術者教育プログラム「総合システム工学」の1の（2）から（7）までの修了要件を満たした者

（4）専攻科研究論文の審査に合格した者

2 前項に規定する単位の修得については、別に定める。

3 校長は原則として学期の区分に従い、修了の認定を行うものとする。

第52条の2 本校の規則に違反し、又は学生としての本分に反する行為をした者は、別に定めるところにより、校長が懲戒する。

2 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

（1）性行不良で改善の見込みがないと認められる者

（2）学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

（3）正当な理由がなくて出席常でない者

（4）本校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 停学の期間は、在学期間に算入し、修業年限に算入しない。ただし、各停学期間が1か月以内である場合は、修業年限に算入するものとする。

5 懲戒に関し、必要な事項は別に定める。

第52条の3 次の各号の一に該当する者は、校長が除籍する。

（1）長期にわたり行方不明の者

- (2) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (3) 第 5 0 条に定める在学年限を超えた者
- (4) 年間 1 5 単位以上を修得することができない者 (特別の理由により、あらかじめ校長の許可を受けた者を除く。)
- (5) 第 5 1 条に定める休学期間を超えて、なお修学できない者
- (6) 入学料の免除又徴収猶予を申請した者のうち、免除を不許可とされた者若しくは半額免除の許可をされた者又は徴収猶予の許可をされた者若しくは不許可とされた者で、所定の期日までに入学料を納付しない者

第 5 2 条の 4 学生は、この学則に定めるもののほか、別に定める専攻科学生準則を遵守しなければならない。

第 5 3 条 第 3 条から第 6 条、第 1 2 条、第 1 8 条第 2 項、第 1 8 条の 2 第 1 項、第 2 2 条、第 2 4 条、第 2 6 条から第 2 8 条、第 3 2 条から第 3 9 条、第 4 1 条の規定は、専攻科にこれを準用する。この場合において、第 1 8 条の 2 第 1 項中「外国の高等学校又は大学」とあるのは「外国の大学」と読み替えるものとする。

第 5 4 条 本章に定めるもののほか、専攻科に関する必要な事項は別に定める。

第 1 0 章 技術者教育プログラム

第 5 4 条の 2 本校に 4、5 年生及び専攻科生を対象とした技術者教育プログラム「総合システム工学」を置く。

2 前項の技術者教育プログラム「総合システム工学」に関し必要な事項は、別に定める。

第 1 1 章 学生寮

第 5 5 条 本校に学生寮を設ける。

2 第 1 学年及び第 2 学年の学生は原則として学生寮へ入寮するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、校長は、施設の維持管理又は感染症対策等のため、第 1 学年及び第 2 学年の学生に対して自宅通学等を要請することができる。

4 学生寮に関し、必要な事項は別に定める。

第 1 2 章 研究生、聴講生、科目等履修生及び特別聴講学生

第 5 6 条 本校において、特定の事項につき研究を志望する者があるときは、研究生として入学を許可することがある。

第 5 7 条 本校所定の授業科目中、1 科目又は数科目を聴講しようとする者があるときは、聴講生として入学を許可することがある。

第 5 8 条 本校所定の授業科目中、1 科目又は複数の授業科目を履修しようとする者があ

るときは、科目等履修生として入学を許可し単位の修得を認定することがある。

第58条の2 高等専門学校（大学及び短期大学を含む。）間の相互単位互換協定に基づいて、本校所定の授業科目中、特定の科目の履修を志望する者があるときは、特別聴講学生として入学を許可することがある。

第59条 前4条に関し、必要な事項は別に定める。

第13章 外国人留学生

第59条の2 外国人で、高等専門学校において教育を受ける目的をもって入国し、本校に入学を志願する者があるときは、校長は特別に選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生に関し、必要な事項は別に定める。

第14章 公開講座

第60条 本校に公開講座を設けることができる。

2 公開講座に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この学則は、昭和37年4月1日から実施する。

附 則

1 この学則は、平成元年4月1日から施行する。

2 工業化学科は、改正後の第7条の規定にかかわらず、平成元年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

3 この学則の施行の際、工業化学科第2学年に在学する者が属すべき学年の教育課程は、改正後の別表第2の規定の適用があるものとする。ただし、別表第2中「物質工学科」とあるのは、「工業化学科」とする。

4 この学則の施行の際、工業化学科第3学年以上に在学する者が属すべき学年の教育課程は、改正後の別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成3年3月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成4年4月1日から施行する。

2 この学則施行の際、機械工学科、電気工学科、電子制御工学科、物質工学科及び工業化学科の第2学年以上に在学する者が属すべき学年の教育課程は、改正後の別表第1及び第2の規定にかかわらず、附則別表第1及び第2に定めるとおりとする。

附 則

この学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、機械工学科、電気工学科及び制御情報工学科の第 2 学年以上に在学する者が属すべき学年の教育課程は、改正後の別表第 1 及び第 2 の規定にかかわらず、附則別表第 1 及び第 2 に定めるとおりとする。

また、電子制御工学科と物質工学科の第 2 学年以上に在学する者が属すべき学年の教育課程は、一般科目については改正後の別表第 1 の規定にかかわらず附則別表第 1 に定めるとおりとし、専門科目については改正後の別表第 2 に定めるとおりとする。

附 則

この学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、機械工学科、電気工学科、制御情報工学科及び物質工学科の第 4 学年以上に在学する者が属すべき学年の教育課程は、改正後の別表第 1 及び第 2 の規定にかかわらず、附則別表第 1 及び第 2 に定めるとおりとする。

また、電子制御工学科の第 4 学年以上に在学する者が属すべき学年の教育課程は、一般科目については改正後の別表第 1 の規定にかかわらず附則別表第 1 に定めるとおりとし、専門科目については改正後の別表第 2 に定めるとおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この学則施行の際、機械工学科、電気工学科、制御情報工学科及び物質工学科の第 5 学年に在学する者が属すべき学年の教育課程は、改正後の別表第 1 及び第 2 の規定にかかわらず、附則別表第 1 及び第 2 に定めるとおりとする。

また、電子制御工学科の第 5 学年に在学する者が属すべき学年の教育課程は、一般科目については改正後の別表第 1 の規定にかかわらず附則別表第 1 に定めるとおりとし、専門科目については改正後の別表第 2 に定めるとおりとする。

附 則

- 1 この学則は、平成 11 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 電気工学科は、改正後の第 7 条の規定にかかわらず、平成 11 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。ただし、この学則改正後の沼津工業高等専門学校学則第 46 条の 3、第 46 条の 4、第 50 条第 2 項及び第 3 項並びに第 52 条第 1 項並びに別表第 3 の規定は、平成 15 年度の専攻科入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成 15 年 5 月 14 日から施行し、平成 15 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 14 日から施行し、平成 16 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 17 年 10 月 12 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 23 年 10 月 1 日から施行し、校長が特に認める場合は、この学則の施行日に現に専攻科に在学する者に適用する。

附 則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

2 機械・電気システム工学専攻、制御・情報システム工学専攻、応用物質工学専攻は、改正後の沼津工業高等専門学校学則第 46 条の規定にかかわらず、平成 26 年 3 月 31 日に当該専攻科に在学する者が当該専攻科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成 26 年 5 月 14 日から施行し、平成 26 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和2年7月22日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和3年5月12日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和4年5月11日から施行し、令和4年4月1日から適用する。

附 則

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和6年4月1日から施行する。ただし、この学則改正後の第55条第2項の規定は、令和7年度の入学者から適用する。

附 則

この学則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、令和8年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和9年4月1日から施行する。
- 2 機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、制御情報工学科及び物質工学科は、改正後の沼津工業高等専門学校学則第7条の規定にかかわらず、令和9年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 前項の適用者に係る教育課程等については、改正後の学則第13条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 令和8年度以前の入学者に係る転科については、改正前の沼津工業高等専門学校学則第23条の規定及び別に定めるところによる。

別表第1～第3（PDF） 教育課程

別表第1
教育課程

一 般 科 目 （各学類共通）

（令和9年度入学生に適用/令和9年度現在第1学年に在学する者に適用）

授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修	基 礎 数 学 I	2	2				
	基 礎 数 学 II	2	2				
	基 礎 数 学 III	2	2				
	基 礎 数 学 演 習	1	1				
	線 形 代 数 I	1		1			
	線 形 代 数 II	2			*2		
	確 率 統 計 I	1		1			
	確 率 統 計 II	1			*1		
	微 分 積 分 I	2		2			
	微 分 積 分 II	2		2			
	微 分 積 分 III	2			*2		
	微 分 積 分 IV	2			*2		
	物 理 I	2	2				
	物 理 II	2		2			
	物 理 基 礎 演 習	1		1			
	物 理 III	1			*1		
	化 学 I	2	2				
	化 学 IIA	1		1			
	生 命 科 学	1	1				
	地 球 科 学	1		1			
必修	現 代 の 国 語	1	1				
	言 語 文 化	2	2				
	国 語 I	2		2			
	国 語 II	2			2		
	文 学 特 論	2			②		外国人留学生は注5参照
	総 合 英 語 IA	2	2				
	総 合 英 語 IB	2	2				
	総 合 英 語 IIA	2		2			
	総 合 英 語 IIB	2		2			
	総 合 英 語 IIIA	2			2		
	総 合 英 語 IIIB	2			*2		
	総 合 英 語 IV	2				*②	
	英 語 WI	1	1				
	英 語 WII	2		2			
	英 語 C	1	1				
	地 理	2	2				
	歴 史 I	2		2			
	歴 史 II	2			2		
	社 会 と 文 化	2			2		外国人留学生は注5参照
	哲 学	2				#②	

	保 健 体 育 I	●	2	2					
	保 健 体 育 II	●	2		2				
	保 健 体 育 III	●	1			1			
	保 健 体 育 IV	●	1				1		
選 択	美 術		1	1					いずれか一方を履修しなければならない
	音 楽								
	化 学 IIB		1		1				
	数 学 演 習		1				1		
	選 択 外 国 語		2				* 2		必ず履修しなければならない
	法 学		2					#2	法学、経済学のうち少なくともいずれか一方を履修しなければならない
	経 済 学		2					#2	
	海 外 語 学 研 修		1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
	日 本 語		5			2	2	1	外国人留学生が履修することができる（注5参照）
	日 本 事 情		4			2	2		
必修科目単位数合計			74	25	23	19	5	2	海外語学研修、外国人留学生対象の科目は合計に含まない
選択科目単位数合計			9	1	1	0	3	4	
開講単位数合計			83	26	24	19	8	6	

（注1）上記に定める授業科目のほか、特別活動を90単位時間以上実施する。

（注2）上記に定める授業科目のほか、1年から4年次で開講される「課題研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」（各1単位）を修得することができる。

ただし、同一学年で修得できる単位数は1単位とする。

（注3）●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

（注4）「丸付き数字」の科目は主要科目である。

（注5）外国人留学生は日本語、日本事情を履修することができる。その際、必修科目である国語Ⅱ、文学特論、歴史Ⅱ、社会と文化の振り替え科目とすることができる。

（注6）単位数の前に*印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

別表第1
教育課程

一 般 科 目 （各学科共通）

（令和7～8年度入学生に適用/令和9年度現在第2～3学年に在学する者に適用）

授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必修	国 語 I	2	2				
	国 語 II	2		2			外国人留学生は注5参照
	現 代 の 国 語	1	1				
	言 語 文 化	2	2				
	文 学 特 論	2			②		外国人留学生は注5参照
	哲 学	2				#②	
	歴 史 I	2	2				
	歴 史 II	2		2			外国人留学生は注5参照
	地 理	2	2				
	社 会 と 文 化	2		2			外国人留学生は注5参照
	基 礎 数 学 I	2	2				
	基 礎 数 学 II	2	2				
	基 礎 数 学 III	2	2				
	微 分 積 分 I	2	2				
	微 分 積 分 II	2	2				
	微 分 積 分 III	2		2			
	微 分 積 分 IV	2		2			
	線 形 代 数 I	2	2				
	線 形 代 数 II	2		2			
	物 理 I	2	2				
	物 理 II	2	2				
	物 理 III	1		1			物質工学科が履修する
	物 理 基 礎 演 習	1	1				機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、制御情報工学科が履修する
	化 学 基 礎	2	2				
	化 学 A	2	2				機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、制御情報工学科が履修する
	化 学 B	2	2				物質工学科が履修する
必修	地 球 と 生 命 の 科 学	1	1				
	保 健 体 育 I ●	2	2				
	保 健 体 育 II ●	2	2				
	保 健 体 育 III ●	2		2			
	総 合 英 語 A I	2	2				
	総 合 英 語 A II	2	2				
	総 合 英 語 A III	2		2			
	総 合 英 語 A IV	2			②		
	総 合 英 語 B I	1	1				
	総 合 英 語 B II	1	1				
	総 合 英 語 B III	2		2			
	英 語 W I	2	2				
	英 語 W II	2	2				
	英 語 C	1	1				

選 択	美 術	1	1					必ず履修しなければならない
	音 楽	1	1					
	法 学	2					#2	法学、経済学のうち少なくともいずれか一方を履修しなければならない
	経 済 学	2					#2	
	選 択 外 国 語	2					2	
	ド イ ツ 語	2				2		
	海 外 語 学 研 修	1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
	日 本 語	5			2	2	1	外国人留学生在履修することができる（注5参照）
	日 本 事 情	4			2	2		
必修科目単位数合計		70	24	22	18	4	2	上段は機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、制御情報工学科、下段は物質工学科
		70	26	19	19	4	2	
選択科目単位数合計		10	2	0	0	2	6	海外語学研修、外国人留学生対象の科目は合計に含まない
開講単位数合計		80	26	22	18	6	8	
		80	28	19	19	6	8	

（注1）上記に定める授業科目のほか、特別活動を90単位時間以上実施する。

（注2）上記に定める授業科目のほか、1年から4年次で開講される「課題研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」（各1単位）を修得することができる。

ただし、同一学年で修得できる単位数は1単位とする。

（注3）●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

（注4）「丸付き数字」の科目は主要科目である。

（注5）外国人留學生は日本語、日本事情を履修することができる。その際、必修科目である国語Ⅱ、文学特論、歴史Ⅱ、社会と文化の振り替え科目とすることができる。

（注6）単位数の前に＊印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

別表第1
教育課程

一 般 科 目 （各学科共通）

（令和5～6年度入学生に適用/令和9年度現在第4～5学年に在学する者に適用）

授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	
必	国 語 I	2	2				
	国 語 II	2		2			外国人留学生は注5参照
	現 代 の 国 語	1	1				
	言 語 文 化	2	2				
	文 学 特 論	2			②		外国人留学生は注5参照
	哲 学	2				#②	
	歴 史 I	2	2				
	歴 史 II	2		2			外国人留学生は注5参照
	地 理	2	2				
	社 会 と 文 化	2		2			外国人留学生は注5参照
	基 礎 数 学 I	2	2				
	基 礎 数 学 II	2	2				
	基 礎 数 学 III	2	2				
	微 分 積 分 I	2	2				
	微 分 積 分 II	2	2				
	微 分 積 分 III	2		2			
	微 分 積 分 IV	2		2			
	線 形 代 数 I	2	2				
	線 形 代 数 II	2		2			
	物 理 I	2	2				
修	物 理 II	2	2				
	物 理 III	1		1			物質工学科が履修する
	物 理 基 礎 演 習	1	1				機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、制御情報工学科が履修する
	化 学 基 礎	2	2				
	化 学 B	2	2				物質工学科が履修する
	地 球 と 生 命 の 科 学	1	1				
	保 健 体 育 I ●	2	2				
	保 健 体 育 II ●	2	2				
	保 健 体 育 III ●	2		2			
	総 合 英 語 A I	2	2				
	総 合 英 語 A II	2	2				
	総 合 英 語 A III	2		2			
	総 合 英 語 A IV	2			②		
	総 合 英 語 B I	1	1				
	総 合 英 語 B II	1	1				
	総 合 英 語 B III	2		2			
	英 語 W I	2	2				
	英 語 W II	2	2				
	英 語 C	1	1				

選 択	化 学 A	2		2				機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、制御情報工学科が必ず履修しなければならない
	美 術	1	1					必ず履修しなければならない
	音 楽	1	1					
	法 学	2					#2	法学、経済学のうち少なくともいずれか一方を履修しなければならない
	経 済 学	2					#2	
	選 択 外 国 語	2					2	
	ド イ ツ 語	2				2		
	海 外 語 学 研 修	1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
	日 本 語	5			2	2	1	外国人留学生在が履修することができる（注5参照）
	日 本 事 情	4			2	2		
必修科目単位数合計		68	24	20	18	4	2	上段は機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、制御情報工学科、下段は物質工学科 海外語学研修、外国人留学生対象の科目は合計に含まない
		70	26	19	19	4	2	
選択科目単位数合計		12	2	2	0	2	6	
		10	2	0	0	2	6	
開講単位数合計		80	26	22	18	6	8	
		80	28	19	19	6	8	

（注1）上記に定める授業科目のほか、特別活動を90単位時間以上実施する。

（注2）上記に定める授業科目のほか、1年から4年次で開講される「課題研究Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」（各1単位）を修得することができる。

ただし、同一学年で修得できる単位数は1単位とする。

（注3）●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

（注4）「丸付き数字」の科目は主要科目である。

（注5）外国人留学生は日本語、日本事情を履修することができる。その際、必修科目である国語Ⅱ、文学特論、歴史Ⅱ、社会と文化の振り替え科目とすることができる。

（注6）単位数の前に＊印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

別表第2

専門科目 先端理工学科 数理情報工学類

(令和9年度入学者に適用/令和9年度現在第1学年に在学する者に適用)

授 業 科 目			単位数	学 年 別 配 当					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学A		1				*①		
	応用数学B		1				*①		
	応用数学C		1				*①		
	応用物理I		1			1			
	応用物理II		1				*①		
	応用物理III		1				*1		
	技術英語I		2				#②		
	技術英語II		1					1	
	プログラミング演習I	●	2		2				
	プログラミング演習II	●	2			2			
	アルゴリズムとデータ構造		2		2				
	数値解析		2				#②		
	コンピュータアーキテクチャI		2		2				
	コンピュータアーキテクチャII		1			*1			
	ディジタル回路演習		1			1			
	ソフトウェア設計		2			*2			
	オペレーティングシステム		1			*1			
	オペレーティングシステム演習		2				②		
	情報通信ネットワーク		1		1				
	情報数学		2			*2			
	情報理論		1				*①		
	データベースシステム		1		1				
	メディア情報処理		1		1				
	IoTシステム演習		2			2			
	情報セキュリティ		1					*①	
	サイバーセキュリティ演習		1					①	
	電気回路		2		2				
	電子回路		1			1			
	計算論基礎		1			*1			
	数理論理学		1			*1			
	AI・データサイエンス基礎		1				①		
	AIシステム実験		1				①		
	数値最適化		1					*1	
	理工学基礎	●	4	4					
	情報処理基礎	●	2	2					
	情報処理応用	●	1			1			
地域志向プロジェクトI	●	1			1				
地域志向プロジェクトII	●	1				①			
地域志向プロジェクトIII	●	2				②			

— 20 —

	自然科学総合実験	●	1				①		
	卒業研究	●						⑩	
【情報システム工学コース科目群】									
必修	信号処理		1				* 1		数理情報科学コースの学生は自由に選択し履修できる
選択	通信工学		1				* 1		3科目以上を修得しなければならない (数理情報科学コースの学生は自由に選択し履修できる)
	人工現実感特論		1					* 1	
	UI・UXデザイン		1				1		
	組込みシステム		1				* 1		
	エッジシステム演習		1					1	
【数理情報科学コース科目群】									
必修	情報代数		1				* 1		情報システム工学コースの学生は自由に選択し履修できる
選択	形式言語理論		1				* 1		3科目以上を修得しなければならない (情報システム工学コースの学生は自由に選択し履修できる)
	暗号理論		1					* 1	
	関数型プログラミング		1				1		
	量子情報数学		1				1		
	量子情報科学特論		1					1	
選択	化学情報学基礎		1			1			
	応用数理基礎		1				* 1		
	Webプログラミング		1				1		
	電磁気学応用		1					* 1	
	線形システム制御		2				* 2		
	ドローン工学		1					1	
	先端数理科学特論		1					* 1	
	先端情報技術特論		1					1	
	数理情報工学演習					2	2		
	学外実習Ⅰ		1				1		
	学外実習Ⅱ		2				2		
	学外実習Ⅲ		1					1	
	学外実習Ⅳ		2					2	
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1	
専門	必修科目単位数合計		67	6	11	17	19	14	学外実習、海外技術研修、編入生・留学生対象科目を除く
	選択科目単位数合計		20	0	0	1	11	8	
	開講単位数合計		87	6	11	18	30	22	
一般科目単位数合計			83	26	24	19	8	6	
合計			170	32	35	37	38	28	

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転学類等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目である。

(注3) 単位数の前に*印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

専門科目 先端理工学科 機械システム工学類

(令和9年度入学者に適用/令和9年度現在第1学年に在学する者に適用)

授 業 科 目			単位数	学 年 別 配 当					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学A		1				*①		
	応用数学B		1				*①		
	応用数学C		1				*①		
	応用物理		2				*②		
	技術英語I		2				#②		
	技術英語II		1					1	
	機械設計製図I		2		2				
	機械設計製図II		2			2			
	機械設計製図III		2					②	
	機械設計法		1			1			
	機構学		2			*2			
	工業力学		1			*1			
	材料力学I		2			*2			
	材料力学II		1				*①		
	流体力学I		1				*①		
	流体力学II		1				*1		
	熱力学		2				*②		
	機械工作法		1				*①		
	機械材料学I		1		*1				
	機械材料学II		1			*1			
	計測工学		1			*1			
	制御工学I		1				*①		
	制御工学II		1				*1		
	機械工作実習I	●	3		3				
	機械工作実習II	●	3			3			
	機械工学実験I	●	2				②		
	機械工学実験II	●	2					②	
	電気回路		2		2				
	電子回路		1			1			
	プログラミング演習		2		2				
	IoTシステム基礎		1			1			
	理工学基礎	●	4	4					
	情報処理基礎	●	2	2					
情報処理応用	●	1			1				
地域志向プロジェクトI	●	1			1				
地域志向プロジェクトII	●	1				①			
地域志向プロジェクトIII	●	2				②			
卒業研究	●	10					⑩		

【プログラム別必修科目】

- 学則 - 22 -

選 択	信号処理		1			1		知能システム創造プログラムの学生は必ず履修しなければならない
	コンピュータビジョン		1			*1		
	人工知能		1				*1	
	コンピュータグラフィックス		1			1		情報技術融合プログラムの学生は必ず履修しなければならない
	数値解析		1			*1		
	オペレーションズリサーチ		1				*1	
選 択	先端機械材料		1			1		
	伝熱工学		1				*1	
	現代制御工学		1				*1	
	デジタル制御工学		1				*1	
	ロボット工学		1				*1	
	振動工学		1				*1	
	現代物理学		1				1	
	モビリティ工学		1			1		
	航空宇宙工学特論		1				1	
	ドローン工学		1				1	
	ヒューマンインターフェイス		1				1	
	エネルギー変換工学		1				*1	
	生産システム		1				*1	
	品質管理		1				*1	
	機械システム工学演習		2			2	2	留学生・編入生が2単位まで履修できる
	学外実習Ⅰ		1				1	2単位以内で自由に選択して履修できる
	学外実習Ⅱ		2				2	
	学外実習Ⅲ		1				1	
	学外実習Ⅳ		2				2	
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
専 門	必修科目単位数合計	68	6	10	17	20	15	学外実習、海外技術研修、編入生・留学生対象科目を除く
	選択科目単位数合計	20	0	0	0	6	14	
	開講単位数合計	88	6	10	17	26	29	
一般科目単位数合計		83	26	24	19	8	6	
合計		171	32	34	36	34	35	

（注１）●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転学類等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

（注２）「丸付き数字」の科目は主要科目である。

（注３）単位数の前に＊印が付いた科目は１単位あたりおおむね３０時間、＃印が付いた科目は１単位あたりおおむね１５時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め４５時間の学修をもって１単位とする。

専門科目 先端理工学科 電気電子システム工学類

(令和9年度入学者に適用/令和9年度現在第1学年に在学する者に適用)

授 業 科 目			学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学A	1				*①		第二種電気主任技術者の認定に必要な基準単位数
	応用数学B	1				*①		
	応用数学C	1				*①		
	応用物理I	1			*1			分類Ⅰ：12単位以上
	応用物理II	2				*②		分類Ⅱ：7単位以上
	技術英語I	2				#②		分類Ⅲ：8単位以上
	技術英語II	1					1	分類Ⅳ：8単位以上
	直流回路	1		1				分類Ⅴ：2単位以上
	回路理論I	1		1				上記分類Ⅰ～Ⅴの基準単位数を修得し、
	回路理論II	1			*1			かつ科目合計41単位を満たすこと
	回路理論III	1			*1			I～Ⅴの基準単位数の合計は37である
	回路理論IV	1				*①		
	電磁気学I	1		1				
	電磁気学II	2			*2			
	電磁気学III	2				*②		
	電子回路I	2			2			
	電子回路II	1				*①		
	電気電子材料	1				*1		
	電気電子機器	1				*①		
	電力工学	2					#②	
	電気電子計測	1				1		
	制御工学	2				*2		
	電気電子工学実験I	● 4		4				
	電気電子工学実験II	● 4			4			
	電気電子工学実験III	● 2				②		
	図学・製図	2			2			
	プログラミング演習	2		2				
	計算機工学	2		2				
	情報理論	1			1			
	IoTシステム基礎	1			1			
	理工学基礎	● 4	4					
	情報処理基礎	● 2	2					
	情報処理応用	● 1			1			
	地域志向プロジェクトI	● 1			1			
	地域志向プロジェクトII	● 1				①		
	地域志向プロジェクトIII	● 2				②		
	卒業研究	● 10					⑩	
【プログラム別必修科目】								
信号処理	1							

選 択	コンピュータビジョン		1				* 1		知能システム創造プログラムの学生は必ず履修しなければならない
	人工知能		1					* 1	
	情報通信システム		1				1		情報技術融合プログラムの学生は必ず履修しなければならない
	数値解析		1				* 1		
	オペレーションズリサーチ		1					* 1	
選 択	通信工学		1				* 1		第二種電気主任技術者の認定には、パワーエレクトロニクス、電気法規の修得が必要になる
	マイクロ波工学		1					* 1	
	パワーエレクトロニクス		1					* 1	
	電気法規		2					# ②	
	エネルギー変換工学		1					* 1	
	現代制御工学		1					* 1	
	デジタル制御工学		1					* 1	
	固体電子工学		1					* 1	
	先端電気電子材料特論		1					1	
	音響工学		1					1	
	オプティクス		1					1	
	色彩工学		1					1	
	ヒューマンインターフェイス		1					1	
	品質管理		1					* 1	
	電気電子システム工学演習		2			2	2		留学生・編入生が2単位まで履修できる
	学外実習Ⅰ		1				1		2単位以内で自由に選択して履修できる
	学外実習Ⅱ		2				2		
	学外実習Ⅲ		1					1	
	学外実習Ⅳ		2					2	
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
専 門	必修科目単位数合計	68	6	11	17	21	13		学外実習、海外技術研修、編入生・留学生対象科目を除く
	選択科目単位数合計	21	0	0	0	5	16		
	開講単位数合計	89	6	11	17	26	29		
一般科目単位数合計		83	26	24	19	8	6		
合計		172	32	35	36	34	35		

（注１）●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転学類等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

（注２）「丸付き数字」の科目は主要科目である。

（注３）単位数の前に＊印が付いた科目は１単位あたりおおむね３０時間、＃印が付いた科目は１単位あたりおおむね１５時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め４５時間の学修をもって１単位とする。

専門科目 先端理工学科 化学生命工学類

(令和9年度入学者に適用/令和9年度現在第1学年に在学する者に適用)

授 業 科 目		単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学	1				*①		
	応用物理	2				*②		
	技術英語I	2				#②		
	技術英語II	1					1	
	有機化学I	2		2				
	有機化学II	1			*1			
	有機化学III	1				*①		
	無機化学I	1		1				
	無機化学II	1			*1			
	分析化学I	1		1				
	分析化学II	1			*1			
	機器分析I	1				*①		
	物理化学I	1			1			
	物理化学II	1			*1			
	物理化学III	1				*①		
	化学工学I	1			*1			
	化学工学II	1				*①		
	化学工学III	1				*①		
	生物化学	1		1				
	分子生物学	1			*1			
	生物学基礎	1				*①		
	微生物工学	1				*①		
	物質工学実験I	● 2		2				
	物質工学実験II	● 3		3				
	物質工学実験III	● 3			3			
	物質工学実験IV	● 3			3			
	物質工学実験V	● 4				④		
	プログラミング演習	1		1				
	電気電子工学基礎	1		1				
	IoTシステム基礎	1			1			
	化学情報学基礎	1			1			
	理工学基礎	● 4	4					
	情報処理基礎	● 2	2					
	情報処理応用	● 1			1			
	地域志向プロジェクトI	● 1			1			
	地域志向プロジェクトII	● 1				①		
	地域志向プロジェクトIII	● 2				②		
	卒業研究	● 10					⑩	
【プログラム別必修科目】								

選 択	数値解析		1				1		情報技術融合プログラムの学生は必ず履修しなければならない
	シミュレーション基礎		1					1	
	先端情報技術特論		1					1	先端科学プログラムの学生は必ず履修しなければならない
選 択	無機化学III		1				* 1		
	有機化学IV		1				* 1		
	物理化学IV		1				* 1		
	生物工学I		1					* 1	
	生物工学II		1					* 1	
	生物工学III		2					#2	
	ゲノム工学		2					#2	
	分離工学		2					#2	
	環境工学		2					#2	
	機器分析II		1					* 1	
	材料科学		1					1	
	資源エネルギー工学		2					#2	
	品質管理		1					* 1	
	化学生命工学演習		2			2	2		留学生・編入生が2単位まで履修できる
	学外実習Ⅰ		1				1		2単位以内で自由に選択して履修できる
	学外実習Ⅱ		2				2		
	学外実習Ⅲ		1					1	
	学外実習Ⅳ		2					2	
専 門	海外技術研修		1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
	必修科目単位数合計		65	6	12	17	19	11	学外実習、海外技術研修、編入生・留学生対象科目を除く
	選択科目単位数合計		21	0	0	0	6	15	
	開講単位数合計		86	6	12	17	25	26	
	一般科目単位数合計		83	26	24	19	8	6	
	合計		169	32	36	36	33	32	

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転学類等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目である。

(注3) 単位数の前に*印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

専門科目 機械工学科

(令和8年度入学生に適用/令和9年度現在第2学年に在学する者に適用)

授 業 科 目			単位数	学 年 別 配 当					備 考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学A		2				*②		
	応用数学B		2				*②		
	応用物理Ⅰ		2			2			
	応用物理Ⅱ		2				*②		
	情報処理基礎		2	2					
	金属材料学Ⅰ		1		1				
	金属材料学Ⅱ		1			1			
	工業力学		1		1				
	材料力学Ⅰ		1			1			
	材料力学Ⅱ		1			1			
	材料力学Ⅲ		2				#②		
	熱力学		2				#②		
	水力学Ⅰ		2				#②		
	水力学Ⅱ		1				1		
	機械工作法		2				#②		
	機械設計法		2				#②		
	機構学Ⅰ		1			1			
	機構学Ⅱ		1			1			
	制御工学Ⅰ		2				#②		
	制御工学Ⅱ		1				1		
	工学基礎Ⅰ		1	1					
	工学基礎Ⅱ	●	1	1					
	工学基礎Ⅲ	●	1	1					
	社会と技術		2				#2		
	社会と工学		2				#2		
	社会と産業		2					#2	
	振動工学		2					#2	
	機械工学基礎	●	2	2					
	機械工作実習Ⅰ	●	3		3				
	機械工作実習Ⅱ	●	3			3			
	機械設計製図Ⅰ	●	3		3				
	機械設計製図Ⅱ	●	2			2			
	機械設計製図Ⅲ	●	2				②		
	機械設計製図Ⅳ	●	2					②	
	機械工学実験Ⅰ	●	1			①			
	機械工学実験Ⅱ	●	2				②		
	機械工学実験Ⅲ	●	2					②	
	工業英語Ⅰ		2				#②		
	工業英語Ⅱ		1					1	
	技術表現法		2					#2	
	卒業研究	●	10			- 学則	⑩		

選 択	プログラム演習Ⅰ		1		1				必ず履修しなければならない
	プログラム演習Ⅱ		1			1			
	電気工学		2		2				
	金属材料学Ⅲ		1			1			
	電子工学		1			1			
	応用熱工学		1				#1		
	数値解析		1				#1		
	弾塑性力学		1					#1	
	先端機械材料		1					#1	
	伝熱工学		2					#2	6科目以上履修しなければならない
	オペレーションズリサーチ		1					#1	
	油空圧工学		1					#1	
	生産システム		1					#1	
	計測工学		1					#1	
	システム制御工学基礎		1					#1	
	メカトロニクス		1					#1	
	現代物理学		1					1	
	航空宇宙工学特論		1					1	開講予定科目、開講しない場合もある
	機械工学演習		2				#2		留学生と編入生のみ履修できる
	学外実習Ⅰ		1				1		2単位以内で自由に選択して履修できる
	学外実習Ⅱ		2				2		
	学外実習Ⅲ		1					1	
	学外実習Ⅳ		2					2	
専 門	海外技術研修		1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
	必修科目単位数合計		79	7	8	13	30	21	学外実習、海外技術研修、留学生・編入生 対象科目を除く
	選択科目単位数合計		20	0	3	3	2	12	
	開講単位数合計		99	7	11	16	32	33	
	一般科目単位数合計		80	26	22	18	6	8	
合 計			179	33	33	34	38	41	

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目である。

(注3) 単位数の前に＊印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

専門科目 機械工学科

(令和6～7年度入学生に適用/令和9年度現在第3～4学年に在学する者に適用)

授 業 科 目			単位数	学 年 別 配 当					備 考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学A		2				*②		
	応用数学B		2				*②		
	応用物理Ⅰ		2			2			
	応用物理Ⅱ		2				*②		
	情報処理基礎		2	2					
	金属材料学Ⅰ		1		1				
	金属材料学Ⅱ		1			1			
	工業力学		1		1				
	材料力学Ⅰ		1			1			
	材料力学Ⅱ		1			1			
	材料力学Ⅲ		2				#②		
	熱力学		2				#②		
	水力学Ⅰ		2				#②		
	水力学Ⅱ		1				1		
	機械工作法		2				#②		
	機械設計法		2				#②		
	機構学Ⅰ		1			1			
	機構学Ⅱ		1			1			
	制御工学Ⅰ		2				#②		
	制御工学Ⅱ		1				1		
	工学基礎Ⅰ		1	1					
	工学基礎Ⅱ	●	1	1					
	工学基礎Ⅲ	●	1	1					
	社会と技術		2				#2		
	社会と工学		2				#2		
	社会と産業		2					#2	
	振動工学		2					#2	
	機械工学基礎	●	2	2					
	機械工作実習Ⅰ	●	3		3				
	機械工作実習Ⅱ	●	3			3			
	機械設計製図Ⅰ	●	3		3				
	機械設計製図Ⅱ	●	2			2			
	機械設計製図Ⅲ	●	2				②		
	機械設計製図Ⅳ	●	2					②	
	機械工学実験Ⅰ	●	1			①			
	機械工学実験Ⅱ	●	2				②		
	機械工学実験Ⅲ	●	2					②	
	工業英語Ⅰ		2				#②		
	工業英語Ⅱ		1					1	
	技術表現法		2					#2	
	卒業研究	●	10			- 学則	⑩	30	-

選 択	プログラム演習Ⅰ		1		1				必ず履修しなければならない
	プログラム演習Ⅱ		1			1			
	電気工学		2		2				
	金属材料学Ⅲ		1			1			
	電子工学		1			1			
	応用熱工学		1				#1		
	数値解析		1				#1		
	弾塑性力学		1					#1	
専 門	先端機械材料		1					#1	6科目以上履修しなければならない
	伝熱工学		2					#2	
	オペレーションズリサーチ		1					#1	
	油空圧工学		1					#1	
	生産システム		1					#1	
	計測工学		1					#1	
	システム制御工学基礎		1					#1	
	メカトロニクス		1					#1	
	現代物理学		1					1	
	機械工学演習		2				#2		留学生と編入生のみ履修できる
専 門	学外実習Ⅰ		1				1		2単位以内で自由に選択して履修できる
	学外実習Ⅱ		2				2		
	学外実習Ⅲ		1					1	
	学外実習Ⅳ		2					2	
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
専 門	必修科目単位数合計		79	7	8	13	30	21	学外実習、海外技術研修、留学生・編入生 対象科目を除く
	選択科目単位数合計		19	0	3	3	2	11	
	開講単位数合計		98	7	11	16	32	32	
	一般科目単位数合計		80	26	22	18	6	8	
合 計			178	33	33	34	38	40	

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目である。

(注3) 単位数の前に*印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

専門科目 機械工学科

(令和5年度入学生に適用/令和9年度現在第5学年に在学する者に適用)

授 業 科 目			単位数	学 年 別 配 当					備 考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学A		2				*②		
	応用数学B		2				*②		
	応用物理Ⅰ		2			2			
	応用物理Ⅱ		2				*②		
	情報処理基礎		2	2					
	金属材料学Ⅰ		1		1				
	金属材料学Ⅱ		1			1			
	工業力学		1		1				
	材料力学Ⅰ		1			1			
	材料力学Ⅱ		1			1			
	材料力学Ⅲ		2				#②		
	熱力学		2				#②		
	水力学Ⅰ		2				#②		
	水力学Ⅱ		1				1		
	機械工作法		2				#②		
	機械設計法		2				#②		
	機構学Ⅰ		1			1			
	機構学Ⅱ		1			1			
	制御工学Ⅰ		2				#②		
	制御工学Ⅱ		1				1		
	工学基礎Ⅰ		1	1					
	工学基礎Ⅱ	●	1	1					
	工学基礎Ⅲ	●	1	1					
	社会と技術		2				#2		
	社会と工学		2				#2		
	社会と産業		2					#2	
	振動工学		2					#2	
	弾塑性力学		1					#1	
	機械工学基礎	●	2	2					
	機械工作実習Ⅰ	●	3		3				
	機械工作実習Ⅱ	●	3			3			
	機械設計製図Ⅰ	●	3		3				
	機械設計製図Ⅱ	●	2			2			
	機械設計製図Ⅲ	●	2				②		
	機械設計製図Ⅳ	●	2					②	
	機械工学実験Ⅰ	●	1			①			
	機械工学実験Ⅱ	●	2				②		
	機械工学実験Ⅲ	●	2					②	
	工業英語Ⅰ		2				#②		
	工業英語Ⅱ		1					1	
	技術表現法		2					#2	
	卒業研究	●	10					⑩	

	プログラム演習Ⅰ		1		1				必ず履修しなければならない
	プログラム演習Ⅱ		1			1			
	電気工学		2		2				
	金属材料学Ⅲ		1			1			
	電子工学		1			1			
	応用熱工学		1				#1		
	数値解析		1				#1		
	先端機械材料		1					#1	
選	伝熱工学		2					#2	6科目以上履修しなければならない
択	オペレーションズリサーチ		1					#1	
	油空圧工学		1					#1	
	生産システム		1					#1	
	計測工学		1					#1	
	システム制御工学基礎		1					#1	
	メカトロニクス		1					#1	
	現代物理学		1					1	
	機械工学演習		2				#2		留学生と編入生のみ履修できる
	学外実習Ⅰ		1				1		2単位以内で自由に選択して履修できる
	学外実習Ⅱ		2				2		
	学外実習Ⅲ		1					1	
	学外実習Ⅳ		2					2	
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
専 門	必修科目単位数合計		80	7	8	13	30	22	学外実習、海外技術研修、留学生・編入生 対象科目を除く
	選択科目単位数合計		18	0	3	3	2	10	
	開講単位数合計		98	7	11	16	32	32	
	一般科目単位数合計		80	26	22	18	6	8	
合 計			178	33	33	34	38	40	

（注１）●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

（注２）「丸付き数字」の科目は主要科目である。

（注３）単位数の前に＊印が付いた科目は１単位あたりおおむね３０時間、＃印が付いた科目は１単位あたりおおむね１５時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め４５時間の学修をもって１単位とする。

専門科目 電気電子工学科

(令和8年度入学生に適用/令和9年度現在第2学年に在学する者に適用)

授業科目				単位数	学年別配当					備考
					1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学 A			2				*②		第二種電気主任技術者の認定に必要な基準単位数
	応用数学 B			2				*②		
	応用物理Ⅰ			2			2			分類Ⅰ：12単位以上
	応用物理Ⅱ			2				*②		分類Ⅱ：7単位以上
	電磁気学Ⅰ		I	2		2				分類Ⅲ：8単位以上
	電磁気学Ⅱ		I	2			2			分類Ⅳ：8単位以上
	電磁気学Ⅲ		I	2				#②		分類Ⅴ：2単位以上
	直流回路		I	2	2					上記分類Ⅰ～Ⅴの基準単位数を修得し、かつ科目合計41単位を満たすこと Ⅰ～Ⅴの基準単位数の合計は37である
	回路理論Ⅰ		I	2		2				
	回路理論Ⅱ		I	2			2			
	回路理論Ⅲ		I	2				#②		
	図学・製図		V	2		2				
	情報処理基礎		Ⅲ	2	2					
	プログラミング		Ⅲ	2		2				
	通信工学			2				#②		
	電子回路Ⅰ		I	2			2			
	電子回路Ⅱ		I	2				#②		
	電気電子計測		I	2				#2		
	電気電子機器		Ⅲ	2				#②		
	電力工学		Ⅱ	2					#②	
	自動制御		Ⅲ	2				#2		
	電気電子材料		Ⅱ	2				#2		
	工業英語			2					#②	
	工学基礎Ⅰ			1	1					
	工学基礎Ⅱ	●		1	1					
	工学基礎Ⅲ	●		1	1					
	社会と技術			2				#2		
	社会と工学			2				#2		
	社会と産業			2					#2	
	電気電子工学実験Ⅱ	●	Ⅳ	4		4				前期はPBL
	電気電子工学実験Ⅲ	●	Ⅳ	4			4			
	電気電子工学実験Ⅳ	●	Ⅳ	4				④		
	電気電子工学実験Ⅴ	●	Ⅳ	2					②	
	卒業研究	●		10					⑩	

選 択	応用電気数学Ⅰ			1			1		必ず履修しなければならない	
	応用電気数学Ⅱ			1			1			
	エネルギー変換工学		Ⅱ	2				#2	この中から6単位以上修得しなければならない ~~~~~ ない ~~~~~ 第二種電気主任技術者の認定には、パ ワーエレクトロニクス、電気法規の修得が必 要になる	
	固体電子工学			2				#2		
	マイクロ波工学			2				#2		
	現代制御工学		Ⅲ	2				#2		
	デジタル制御工学		Ⅲ	2				#2		
	コンピュータ工学		Ⅲ	2			#2			
	パワーエレクトロニクス		Ⅲ	2				#2		
	電気法規		Ⅱ	2				#2		
	機械工学概論			2			2			
	先端電気電子材料特論			2				#2		
	学外実習Ⅰ			1				1	2単位以内で自由に選択して履修できる	
	学外実習Ⅱ			2				2		
学外実習Ⅲ			1				1			
学外実習Ⅳ			2				2			
海外技術研修			1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる	
専 門	必修科目単位数合計			79	7	12	12	30	18	学外実習、海外技術研修、留学生・編入 生対象の科目を除く
	選択科目単位数合計			22	0	0	4	2	16	
	開講単位数合計			101	7	12	16	32	34	
	一般科目単位数合計			80	26	22	18	6	8	
	合　　計			181	33	34	34	38	42	

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目である。

(注3) 単位数の前に*印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

専門科目 電気電子工学科

(令和7年度入学生に適用/令和9年度現在第3学年に在学する者に適用)

授業科目				単位数	学年別配当					備考
					1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学 A			2				*②		第二種電気主任技術者の認定に必要な基準単位数
	応用数学 B			2				*②		
	応用物理Ⅰ			2			2			分類Ⅰ：12単位以上
	応用物理Ⅱ			2				*②		分類Ⅱ：7単位以上
	電磁気学Ⅰ		I	2		2				分類Ⅲ：8単位以上
	電磁気学Ⅱ		I	2			2			分類Ⅳ：8単位以上
	電磁気学Ⅲ		I	2				#②		分類Ⅴ：2単位以上
	直流回路		I	2	2					上記分類Ⅰ～Ⅴの基準単位数を修得し、かつ科目合計41単位を満たすこと Ⅰ～Ⅴの基準単位数の合計は37である
	回路理論Ⅰ		I	2		2				
	回路理論Ⅱ		I	2			2			
	回路理論Ⅲ		I	2				#②		
	図学・製図		V	2		2				
	情報処理基礎		Ⅲ	2	2					
	プログラミング		Ⅲ	2		2				
	通信工学			2				#②		
	電子回路Ⅰ		I	2			2			
	電子回路Ⅱ		I	2				#②		
	電気電子計測		I	2				#2		
	電気電子機器		Ⅲ	2				#②		
	電力工学		Ⅱ	2					#②	
	自動制御		Ⅲ	2				#2		
	電気電子材料		Ⅱ	2				#2		
	工業英語			2					#②	
	工学基礎Ⅰ			1	1					
	工学基礎Ⅱ	●		1	1					
	工学基礎Ⅲ	●		1	1					
	社会と技術			2				#2		
	社会と工学			2				#2		
	社会と産業			2					#2	
	電気電子工学実験Ⅱ	●	Ⅳ	4		4				
	電気電子工学実験Ⅲ	●	Ⅳ	4			4			
電気電子工学実験Ⅳ	●	Ⅳ	4				④		前期はPBL	
電気電子工学実験Ⅴ	●	Ⅳ	2					②		
卒業研究	●		10					⑩		

選 択	応用電気数学Ⅰ			1			1		必ず履修しなければならない	
	応用電気数学Ⅱ			1			1			
	エネルギー変換工学		Ⅱ	2				#2	この中から6単位以上修得しなければならない ~~~~~ ない ~~~~~	
	固体電子工学			2				#2		
	マイクロ波工学			2				#2		
	現代制御工学		Ⅲ	2				#2		
	デジタル制御工学		Ⅲ	2				#2		
	コンピュータ工学		Ⅲ	2			#2			
	パワーエレクトロニクス		Ⅲ	2				#2	第二種電気主任技術者の認定には、パ ワーエレクトロニクス、電気法規の修得が必要になる	
	電気法規		Ⅱ	2				#2		
	機械工学概論			2			2			
	学外実習Ⅰ			1				1		2単位以内で自由に選択して履修できる
学外実習Ⅱ			2				2			
学外実習Ⅲ			1					1		
学外実習Ⅳ			2					2		
海外技術研修			1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる	
専 門	必修科目単位数合計			79	7	12	12	30	18	学外実習、海外技術研修、留学生・編入 生対象の科目を除く
	選択科目単位数合計			20	0	0	4	2	14	
	開講単位数合計			99	7	12	16	32	32	
	一般科目単位数合計			80	26	22	18	6	8	
	合 計			179	33	34	34	38	40	

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目である。

(注3) 単位数の前に*印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

専門科目 電気電子工学科

(令和5～6年度入学生に適用/令和9年度現在第4～5学年に在学する者に適用)

授業科目				単位数	学年別配当					備考
					1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学 A			2				*②		第二種電気主任技術者の認定に必要な基準単位数
	応用数学 B			2				*②		
	応用物理Ⅰ			2			2			分類Ⅰ：12単位以上
	応用物理Ⅱ			2				*②		分類Ⅱ：7単位以上
	電磁気学Ⅰ		I	2		2				分類Ⅲ：8単位以上
	電磁気学Ⅱ		I	2			2			分類Ⅳ：8単位以上
	電磁気学Ⅲ		I	2				#②		分類Ⅴ：2単位以上
	直流回路		I	2	2					上記分類Ⅰ～Ⅴの基準単位数を修得し、かつ科目合計41単位を満たすこと Ⅰ～Ⅴの基準単位数の合計は37である
	回路理論Ⅰ		I	2		2				
	回路理論Ⅱ		I	2			2			
	回路理論Ⅲ		I	2				#②		
	図学・製図		V	2		2				
	情報処理基礎		Ⅲ	2	2					
	プログラミング		Ⅲ	2		2				
	通信工学			2				#②		
	電子回路Ⅰ		I	2			2			
	電子回路Ⅱ		I	2				#②		
	電気電子計測		I	2				#2		
	電気電子機器		Ⅲ	2				#②		
	電力工学		Ⅱ	2					#②	
	自動制御		Ⅲ	2				#2		
	電気電子材料		Ⅱ	2				#2		
	工業英語Ⅰ			2					#②	
	工学基礎Ⅰ			1	1					
	工学基礎Ⅱ	●		1	1					
	工学基礎Ⅲ	●		1	1					
	社会と技術			2				#2		
	社会と工学			2				#2		
	社会と産業			2					#2	
	電気電子工学実験Ⅱ	●	Ⅳ	4		4				
	電気電子工学実験Ⅲ	●	Ⅳ	4			4			
	電気電子工学実験Ⅳ	●	Ⅳ	4				④		前期はPBL
	電気電子工学実験Ⅴ	●	Ⅳ	2					②	
	卒業研究	●		10					⑩	

選 択	応用電気数学Ⅰ			1			1		必ず履修しなければならない	
	応用電気数学Ⅱ			1			1			
	エネルギー変換工学		Ⅱ	2				#2	この中から6単位以上修得しなければならない ~~~~~ ない ~~~~~	
	固体電子工学			2				#2		
	マイクロ波工学			2				#2		
	現代制御工学		Ⅲ	2				#2		
	デジタル制御工学		Ⅲ	2				#2		
	工業英語Ⅱ			2				#2		
	コンピュータ工学		Ⅲ	2			#2			
	パワーエレクトロニクス		Ⅲ	2				#2		
	電気法規		Ⅱ	2				#2		
	機械工学概論			2			2			
	学外実習Ⅰ			1				1	2単位以内で自由に選択して履修できる	
	学外実習Ⅱ			2				2		
	学外実習Ⅲ			1				1		
学外実習Ⅳ			2				2			
海外技術研修			1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる	
専 門	必修科目単位数合計			79	7	12	12	30	18	学外実習、海外技術研修、留学生・編入生対象の科目を除く
	選択科目単位数合計			22	0	0	4	2	16	
	開講単位数合計			101	7	12	16	32	34	
	一般科目単位数合計			80	26	22	18	6	8	
	合 計			181	33	34	34	38	42	

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目である。

(注3) 単位数の前に*印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

専門科目 電子制御工学科

(令和8年度入学生に適用/令和9年度現在第2学年に在学する者に適用)

授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
		1年	2年	3年	4年	5年	
応用数学A	2				* ②		自由に選択し履修することができる(集中講義)
応用数学B	1				*1		
応用物理Ⅰ	2			2			
応用物理Ⅱ	2				# ②		
工学数理Ⅰ	1			1			
工学数理Ⅱ	1				* ①		
電気回路	2		2				
回路理論	2			2			
電子回路	2			2			
線形回路解析	2				* ②		
電磁気学Ⅰ	2				* ②		
電磁気学Ⅱ	2				* ②		
電気・機械製図	2		2				
電子機械基礎実習	● 1			1			
電子機械設計・製作Ⅰ	● 2				* ②		
電子機械設計・製作Ⅱ	● 3				* ③		
計算機基礎	2		2				
計算機工学	2			2			
情報処理基礎	2	2					
UNIX入門	1		1				
プログラミング入門	1		1				
プログラミング基礎演習	1			1			
制御工学	2				* ②		
計測工学	2					# ②	
品質工学	2					# 2	
工学技術セミナー	2	2					
工業力学	1			1			
エネルギー工学	1			1			
工学基礎Ⅰ	1	1					
工学基礎Ⅱ	● 1	1					
工学基礎Ⅲ	● 1	1					
社会と技術	2				#2		
社会と工学	2				#2		
社会と産業	2					#2	
電子制御工学実験	● 12		3	4	* ③	* ②	
工業英語	1					* ①	
卒業研究	● 8					⑧	
電子機械設計演習	1				* 1		自由に選択し履修することができる(集中講義)
ロボット工学演習	1			1			
プログラミング応用演習	1				* 1		
工学数理特論	1				* 1		
計算機シミュレーション	2					# 2	
システム制御工学	2					# 2	

選 択	人工知能		2				# 2	自由に選択し履修することができる
	データサイエンス演習		2				# 2	
	通信工学		2				# 2	
	ロボット工学		2				# 2	
	熱設計		1				*1	
	組込みシステム		1				*1	
	電子制御工学基礎演習		2			2		留学生在が履修できる(集中講義)
	電子制御工学演習A		2				2	編入生が履修できる(集中講義)
	電子制御工学演習B		2				2	留学生在が履修できる(集中講義)
	学外実習Ⅰ		1			1		
	学外実習Ⅱ		1			1		
	学外実習Ⅲ		1				1	
学外実習Ⅳ		1				1		
学外実習Ⅴ		1				1		
学外実習Ⅵ		1				1		
海外技術研修		1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
専 門	必修科目単位数合計	78	7	11	17	26	17	学外実習、海外技術研修、編入生・留 学生対象科目を除く
	選択科目単位数合計	18	0	0	1	3	14	
	開講単位数合計	96	7	11	18	29	31	
一 般 科 目 単 位 数 合 計		80	26	22	18	6	8	
合 計		176	33	33	36	35	39	

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しないと進級・卒業できない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目である。

(注3) 単位数の前に*印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

専門科目 電子制御工学科

(令和5～7年度入学生に適用/令和9年度現在第3～5学年に在学する者に適用)

授 業 科 目	単位数	学 年 別 配 当					備 考
		1年	2年	3年	4年	5年	
応用数学A	2				* ②		
応用数学B	1				*1		
応用物理Ⅰ	2			2			
応用物理Ⅱ	2				# ②		
工学数理Ⅰ	1			1			
工学数理Ⅱ	1				* ①		
電気回路	2		2				
回路理論	2			2			
電子回路	2			2			
線形回路解析	2				* ②		
電磁気学Ⅰ	2				* ②		
電磁気学Ⅱ	2				* ②		
電気・機械製図	2		2				
電子機械基礎実習	● 1			1			
電子機械設計・製作Ⅰ	● 2				* ②		
電子機械設計・製作Ⅱ	● 3				* ③		
計算機基礎	2		2				
計算機工学Ⅰ	2			2			
計算機工学Ⅱ	2					# ②	
情報処理基礎	2	2					
UNIX入門	1		1				
プログラミング入門	1		1				
プログラミング基礎演習	1			1			
制御工学	2				* ②		
計測工学	2					# ②	
品質工学	2					# 2	
工学技術セミナー	2	2					
工業力学	1			1			
エネルギー工学	1			1			
工学基礎Ⅰ	1	1					
工学基礎Ⅱ	● 1	1					
工学基礎Ⅲ	● 1	1					
社会と技術	2				#2		
社会と工学	2				#2		
社会と産業	2					#2	
電子制御工学実験	● 12		3	4	* ③	* ②	
工業英語	1					* ①	
卒業研究	● 8					⑧	
電子機械設計演習	1				* 1		自由に選択し履修することができる(集中講義)
ロボット工学演習	1			1			
プログラミング応用演習	1				* 1		
工学数理特論	1				* 1		
計算機シミュレーション	2					# 2	
システム制御工学	2					# 2	

選 択	人工知能		2				# 2	自由に選択し履修することができる
	データサイエンス演習		2				# 2	
	通信工学		2				# 2	
	ロボット工学		2				# 2	
	熱設計		1				*1	
	電子制御工学基礎演習		2			2		留学生在履修できる(集中講義)
	電子制御工学演習A		2				2	編入生が履修できる(集中講義)
	電子制御工学演習B		2				2	留学生在履修できる(集中講義)
	学外実習Ⅰ		1			1		
	学外実習Ⅱ		1			1		
	学外実習Ⅲ		1				1	
	学外実習Ⅳ		1				1	
	学外実習Ⅴ		1				1	
	学外実習Ⅵ		1				1	
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
専 門	必修科目単位数合計	80	7	11	17	26	19	学外実習、海外技術研修、編入生・留 学生対象科目を除く
	選択科目単位数合計	17	0	0	1	3	13	
	開講単位数合計	97	7	11	18	29	32	
	一般科目単位数合計	80	26	22	18	6	8	
合 計		177	33	33	36	35	40	

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しないと進級・卒業できない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目である。

(注3) 単位数の前に*印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

専門科目 制御情報工学科

(令和8年度入学者に適用/令和9年度現在第2学年に在学する者に適用)

授 業 科 目			学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学A	2				*②		
	応用数学B	2				*②		
	工業力学	2			2			
	応用物理	2				*②		
	工学演習Ⅰ	1			1			
	工学演習Ⅱ	1				*①		
	技術英語Ⅰ	1				*①		
	技術英語Ⅱ	1					*①	
	情報処理基礎	2	2					
	情報学概論	1		1				
	計算機アーキテクチャ基礎	2		2				
	データ構造とアルゴリズム	2			2			
	オペレーティングシステム	2				#2		
	数値解析	2				#②		
	離散数学Ⅰ	1			1			
	離散数学Ⅱ	1				*①		
	コンピュータグラフィックス	2				*②		
	電気回路	2		2				
	電子回路	2			2			
	電磁気学	2				*2		
	製図	2		2				
	メカトロニクス	1			1			
	システム設計工学	1				*①		
	計測工学	1				*①		
	自動制御	2				*②		
	工学基礎Ⅰ	1	1					
	工学基礎Ⅱ	●	1	1				
	工学基礎ⅢⅠ	●	1	1				
	コンピュータ基礎演習	●	2	2				
	プログラミング演習Ⅰ	●	2	2				
	プログラミング演習Ⅱ	●	2		2			
	メカトロニクス演習Ⅰ	●	2	2				
	メカトロニクス演習Ⅱ	●	2		2			
	創造設計	●	4			④		
	工学実験Ⅰ	●	2			②		
	工学実験Ⅱ	●	2				②	
	機械工作法	●	2		2			実習を含む
	社会と技術	2			#2			
	社会と工学	2				#2		

	社会と産業		2					#2	
	情報ネットワーク論		1					*1	
	卒業研究	●	8					⑧	
選 択	計算機シミュレーション		2					#2	9単位以上を選択して修得しなければならない
	データベースシステム		2					#2	
	関数型プログラミング		1					*1	
	人工知能		2					#2	
	情報理論		2					#2	
	信号処理		1					*1	
	通信工学		2					#2	
	現代制御工学		2					#2	
	デジタル制御工学		2					#2	
	ロボット工学		2					#2	
	ソフトウェア設計論		1					*1	
	流体力学		1					*1	
	UI・UXデザイン		1					*1	
	Webプログラミング		1					*1	
	現代物理学		1					*1	
	学外実習Ⅰ		1				1		2 単位以内に自由を選択して履修できる
	学外実習Ⅱ		2				2		
	学外実習Ⅲ		1					1	
学外実習Ⅳ		2					2		
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
専 門	必修科目単位数合計		78	7	11	17	29	14	
	選択科目単位数合計		23	0	0	0	0	23	学外実習，海外技術研修を除く
	開講単位数合計		101	7	11	17	29	37	
	一般科目単位数合計		80	26	22	18	6	8	
合計		181	33	33	35	35	45		

（注１）●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

（注２）「丸付き数字」の科目は主要科目である。

（注３）単位数の前に＊印が付いた科目は１単位あたりおおむね３０時間、＃印が付いた科目は１単位あたりおおむね１５時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め４５時間の学修をもって１単位とする。

専門科目 制御情報工学科

(令和6～7年度入学者に適用/令和9年度現在第3～4学年に在学する者に適用)

授 業 科 目		単位数	学 年 別 配 当					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学A	2				*②		
	応用数学B	2				*②		
	工業力学	2			2			
	応用物理	2				*②		
	工学演習Ⅰ	1			1			
	工学演習Ⅱ	1				*①		
	技術英語Ⅰ	1				*①		
	技術英語Ⅱ	1					*①	
	情報処理基礎	2	2					
	情報学概論	1		1				
	計算機アーキテクチャ基礎	2		2				
	データ構造とアルゴリズム	2			2			
	オペレーティングシステム	2				#2		
	数値解析	2				#②		
	離散数学Ⅰ	1			1			
	離散数学Ⅱ	1				*①		
	コンピュータグラフィックス	2				*②		
	電気回路	2		2				
	電子回路	2			2			
	電磁気学	2				*2		
	製図	2		2				
	メカトロニクス	1			1			
	システム設計工学	1				*①		
	計測工学	1				*①		
	自動制御	2				*②		
	工学基礎Ⅰ	1	1					
	工学基礎Ⅱ	●	1	1				
	工学基礎ⅢⅠ	●	1	1				
	コンピュータ基礎演習	●	2	2				
	プログラミング演習Ⅰ	●	2	2				
	プログラミング演習Ⅱ	●	2		2			
	メカトロニクス演習Ⅰ	●	2	2				
	メカトロニクス演習Ⅱ	●	2		2			
	創造設計	●	4			④		
	工学実験Ⅰ	●	2			②		
	工学実験Ⅱ	●	2				②	
	機械工作法	●	2		2			実習を含む
	社会と技術	2			#2			
	社会と工学	2				#2		

	社会と産業		2				#2	
	情報ネットワーク論		1				*1	
	卒業研究	●	8				⑧	
選 択	計算機シミュレーション		2				#2	9単位以上を選択して修得しなければならない
	データベースシステム		2				#2	
	人工知能		2				#2	
	情報理論		2				#2	
	ソフトウェア検証論		1				*1	
	通信工学		2				#2	
	現代制御工学		2				#2	
	デジタル制御工学		2				#2	
	ロボット工学		2				#2	
	ソフトウェア設計論		1				*1	
	流体力学		1				*1	
	振動工学		2				#2	
	生産システム		1				*1	
	現代物理学		1				*1	
	学外実習Ⅰ		1			1		2単位以内で自由に選択して履修できる
	学外実習Ⅱ		2			2		
	学外実習Ⅲ		1				1	
	学外実習Ⅳ		2				2	
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
専 門	必修科目単位数合計		78	7	11	17	29	14
	選択科目単位数合計		23	0	0	0	0	23
	開講単位数合計		101	7	11	17	29	37
	一般科目単位数合計		80	26	22	18	6	8
	合計		181	33	33	35	35	45

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目である。

(注3) 単位数の前に*印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

専門科目 制御情報工学科

(令和5年度入学者に適用/令和9年度現在第5学年に在学する者に適用)

授 業 科 目			単位数	学 年 別 配 当					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修	応用数学A		2				*②		
	応用数学B		2				*②		
	工業力学		2			2			
	応用物理		2				*②		
	工学演習Ⅰ		1			1			
	工学演習Ⅱ		1				*①		
	技術英語Ⅰ		1				*①		
	技術英語Ⅱ		1					*①	
	情報処理基礎		2	2					
	情報学概論		1		1				
	計算機アーキテクチャ基礎		2		2				
	データ構造とアルゴリズム		2			2			
	オペレーティングシステム		2				#2		
	数値解析		2				#②		
	離散数学Ⅰ		1			1			
	離散数学Ⅱ		1				*①		
	コンピュータグラフィックス		2				*②		
	電気回路		2		2				
	電子回路		2			2			
	電磁気学		2				*2		
	製図		2		2				
	メカトロニクス		1			1			
	システム設計工学		1				*①		
	計測工学		1				*①		
	自動制御		2				*②		
	工学基礎Ⅰ		1	1					
	工学基礎Ⅱ	●	1	1					
	工学基礎Ⅲ	●	1	1					
	コンピュータ基礎演習	●	2	2					
	プログラミング演習Ⅰ	●	2		2				
	プログラミング演習Ⅱ	●	2			2			
	メカトロニクス演習Ⅰ	●	2		2				
	メカトロニクス演習Ⅱ	●	2			2			
創造設計	●	4				④			
工学実験Ⅰ	●	2				②			
工学実験Ⅱ	●	2					②		
機械工作法	●	2			2		実習を含む		
社会と技術		2			#2				
社会と工学		2				#2			

— 48 —

学則

	社会と産業		2				#2	
	卒業研究	●	8				⑧	
選 択	計算機シミュレーション		2				#2	11単位以上を選択して修得しなければならない
	データベースシステム		2				#2	
	人工知能		2				#2	
	情報理論		2				#2	
	情報ネットワーク論		1				*1	
	ソフトウェア検証論		1				*1	
	通信工学		2				#2	
	現代制御工学		2				#2	
	デジタル制御工学		2				#2	
	ロボット工学		2				#2	
	ソフトウェア設計論		1				*1	
	流体力学		1				*1	
	振動工学		2				#2	
	生産システム		1				*1	
	現代物理学		1				*1	
	学外実習Ⅰ		1			1		2単位以内で自由に選択して履修できる
	学外実習Ⅱ		2			2		
	学外実習Ⅲ		1				1	
	学外実習Ⅳ		2				2	
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1～5年で1単位まで修得できる
専 門	必修科目単位数合計		77	7	11	17	29	13
	選択科目単位数合計		24	0	0	0	0	24
	開講単位数合計		101	7	11	17	29	37
	一般科目単位数合計		80	26	22	18	6	8
	合計		181	33	33	35	35	47

（注１）●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

（注２）「丸付き数字」の科目は主要科目である。

（注３）単位数の前に＊印が付いた科目は１単位あたりおおむね３０時間、＃印が付いた科目は１単位あたりおおむね１５時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め４５時間の学修をもって１単位とする。

(令和8年度入学者に適用/令和9年度現在第2学年に在学する者に適用)

授業科目			単位数	学年別配当					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修	物質工学入門	●	1	1					
	物質工学基礎		1		1				
	物質工学演習		1		1				
	分析化学Ⅰ		1		1				
	分析化学Ⅱ		1			1			
	機器分析		1				①		
	無機化学Ⅰ		1		1				
	無機化学Ⅱ		2				#②		
	物質の化学		1		1				
	有機化学Ⅰ		1		1				
	有機化学Ⅱ		1			1			
	有機化学Ⅲ		1				①		
	有機化学Ⅳ		1				①		
	有機化学Ⅴ		1					①	
	物理化学Ⅰ		1			1			
	物理化学Ⅱ		1			1			
	物理化学Ⅲ		1				#①		
	物理化学Ⅳ		1				1		
	生命科学		1		1				
	生物化学Ⅰ		1		1				
	生物化学Ⅱ		1			1			
	生物工学基礎Ⅰ		2				#②		
	微生物工学		2				#2		
	分子生物学		2					#②	
	化学工学Ⅰ		1			1			
	化学工学Ⅱ		1				①		
	化学工学Ⅲ		1				①		
	化学と情報学		1					*1	
	品質管理		1					1	
	科学英語Ⅰ		2				#②		
	物質工学ゼミナール		1				*1		
	情報処理基礎		2	2					
	応用数学Ⅰ		1				①		
	応用物理Ⅰ		1			1			
	応用物理Ⅱ		2				②		
	工学基礎Ⅰ		1	1					
	工学基礎Ⅱ	●	1	1					
	工学基礎Ⅲ	●	1	1					
	社会と技術		2			#2			
	社会と工学		2				#2		
	社会と産業		2					#2	
	物質工学実験Ⅰ	●	2		2				
	物質工学実験Ⅱ	●	4		4				

	物質工学実験Ⅲ	●	4			4		
	物質工学実験Ⅳ	●	4			4		
	物質工学実験Ⅴ	●	4				④	
	物質工学実験Ⅵ	●	4				④	
	卒業研究	●	10					⑩
選 択	無機化学Ⅲ		2					#2
	物理化学Ⅴ		1					#1
	分離工学		2					#2
	電気電子工学基礎		1					1
	社会と物質工学		1					#1
	生物工学基礎Ⅱ		2					#2
	ゲノム工学		2					#2
	科学英語Ⅱ		1					#1
	応用数学Ⅱ		1				1	
	学外実習Ⅰ		1				1	
	学外実習Ⅱ		2				2	
	学外実習Ⅲ		1					1
	学外実習Ⅳ		2					2
	特別物質工学実習		1			1	1	1
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1
専 門	必修科目単位数合計		83	6	14	17	29	17
	選択科目単位数合計		13	0	0	0	1	12
	開講単位数合計		96	6	14	17	30	29
	一般科目単位数合計		80	28	19	19	6	8
	合計		176	34	33	36	36	37

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目を表す。

(注3) 単位数の前に＊印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間の対面授業時間とする学修単位科目であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

(令和6～7年度入学者に適用/令和9年度現在第3～4学年に在学する者に適用)

授業科目			単位数	学年別配当					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修	物質工学入門	●	1	1					
	物質工学基礎		1		1				
	物質工学演習		1		1				
	分析化学Ⅰ		1		1				
	分析化学Ⅱ		1			1			
	機器分析		1				①		
	無機化学Ⅰ		1		1				
	無機化学Ⅱ		2				#②		
	物質の化学		1		1				
	有機化学Ⅰ		1		1				
	有機化学Ⅱ		1			1			
	有機化学Ⅲ		1				①		
	有機化学Ⅳ		1				①		
	有機化学Ⅴ		1					①	
	物理化学Ⅰ		1			1			
	物理化学Ⅱ		1			1			
	物理化学Ⅲ		1				#①		
	物理化学Ⅳ		2				#2		
	生命科学		1		1				
	生物化学Ⅰ		1		1				
	生物化学Ⅱ		1			1			
	生物工学基礎Ⅰ		2				#②		
	微生物工学		2				#2		
	分子生物学		2					#②	
	化学工学Ⅰ		1			1			
	化学工学Ⅱ		2				②		
	化学と情報学		1					*1	
	品質管理		1					1	
	科学英語Ⅰ		2				#②		
	物質工学ゼミナール		1				*1		
	情報処理基礎		2	2					
	応用数学Ⅰ		1				①		
	応用物理Ⅰ		1			1			
	応用物理Ⅱ		2				②		
	工学基礎Ⅰ		1	1					
	工学基礎Ⅱ	●	1	1					
	工学基礎Ⅲ	●	1	1					
	社会と技術		2			#2			
	社会と工学		2				#2		
	社会と産業		2					#2	
	物質工学実験Ⅰ	●	2		2				
	物質工学実験Ⅱ	●	4		4				
	物質工学実験Ⅲ	●	4			4			

	物質工学実験Ⅳ	●	4			4		
	物質工学実験Ⅴ	●	4				④	
	物質工学実験Ⅵ	●	4				④	
	卒業研究	●	10					⑩
選 択	無機化学Ⅲ		2					#2
	分離工学		2					#2
	電気電子工学基礎		1					1
	社会と物質工学		1					#1
	生物工学基礎Ⅱ		2					#2
	ゲノム工学		2					#2
	科学英語Ⅱ		1					#1
	応用数学Ⅱ		1				1	
	学外実習Ⅰ		1				1	
	学外実習Ⅱ		2				2	
	学外実習Ⅲ		1					1
	学外実習Ⅳ		2					2
	特別物質工学実習		1			1	1	1
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1
専 門	必修科目単位数合計		84	6	14	17	30	17
	選択科目単位数合計		12	0	0	0	1	11
	開講単位数合計		96	6	14	17	31	28
	一般科目単位数合計		80	28	19	19	6	8
	合計		176	34	33	36	37	36

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目を表す。

(注3) 単位数の前に * 印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間

の対面授業時間とする学修単位科目 であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

(令和5年度入学者に適用/令和9年度現在第5学年に在学する者に適用)

授業科目			単位数	学年別配当					備考
				1年	2年	3年	4年	5年	
必修	物質工学入門	●	1	1					
	物質工学基礎		1		1				
	物質工学演習		1		1				
	分析化学Ⅰ		1		1				
	分析化学Ⅱ		1			1			
	機器分析		1				①		
	無機化学Ⅰ		1		1				
	無機化学Ⅱ		2				#②		
	物質の化学		1		1				
	有機化学Ⅰ		1		1				
	有機化学Ⅱ		1			1			
	有機化学Ⅲ		1				①		
	有機化学Ⅳ		1				①		
	有機化学Ⅴ		1					①	
	物理化学Ⅰ		1			1			
	物理化学Ⅱ		1			1			
	物理化学Ⅲ		1				#①		
	生命科学		1		1				
	生物化学Ⅰ		1		1				
	生物化学Ⅱ		1			1			
	生物工学基礎Ⅰ		2				#②		
	微生物工学		2				#2		
	分子生物学		2					#②	
	化学工学Ⅰ		1			1			
	化学工学Ⅱ		2				②		
	化学と情報学		1					*1	
	品質管理		1					1	
	科学英語Ⅰ		2				#②		
	物質工学ゼミナール		1				*1		
	情報処理基礎		2	2					
	応用数学Ⅰ		1				①		
	応用物理Ⅰ		1			1			
	応用物理Ⅱ		2				②		
	工学基礎Ⅰ		1	1					
	工学基礎Ⅱ	●	1	1					
	工学基礎Ⅲ	●	1	1					
	社会と技術		2			#2			
	社会と工学		2				#2		
	社会と産業		2					#2	
	物質工学実験Ⅰ	●	2		2				
	物質工学実験Ⅱ	●	4		4				
	物質工学実験Ⅲ	●	4			4			
	物質工学実験Ⅳ	●	4			4			

	物質工学実験Ⅴ	●	4				④	
	物質工学実験Ⅵ	●	4				④	
	卒業研究	●	10					⑩
選 択	無機化学Ⅲ		2					#2
	物理化学Ⅳ		2				#2	
	分離工学		2					#2
	電気電子工学基礎		1					1
	社会と物質工学		1					#1
	生物工学基礎Ⅱ		2					#2
	ゲノム工学		2					#2
	科学英語Ⅱ		1					#1
	応用数学Ⅱ		1				1	
	学外実習Ⅰ		1				1	
	学外実習Ⅱ		2				2	
	学外実習Ⅲ		1					1
	学外実習Ⅳ		2					2
	特別物質工学実習		1			1	1	1
	海外技術研修		1	1	1	1	1	1
専 門	必修科目単位数合計		82	6	14	17	28	17
	選択科目単位数合計		14	0	0	0	3	11
	開講単位数合計		96	6	14	17	31	28
	一般科目単位数合計		80	28	19	19	6	8
	合計		176	34	33	36	37	36

(注1) ●印の科目は該当学年において修得しなければならない。

ただし、転科等により適用される教育課程表に変更があった場合、変更前の修得についてはこの限りではない。

(注2) 「丸付き数字」の科目は主要科目を表す。

(注3) 単位数の前に * 印が付いた科目は1単位あたりおおむね30時間、#印が付いた科目は1単位あたりおおむね15時間

の対面授業時間とする学修単位科目 であり、自学自習を含め45時間の学修をもって1単位とする。

専門科目（各学科共通）

（令和9年度に在学する者に適用）

授 業 科 目			単位数	学 年 別 配 当					備 考
				1年	2年	3年	4年	5年	
専門	選択	基礎生理学	1			1			
専門	選択	生体情報計測概論	1				1		
専門	選択	臨床生体情報計測	1					1	
専門	選択	機械工作実習	1～2			1		2	数理情報工学類、電気電子システム工学類、化学生命工学類の学生が最大2単位まで履修できる（一部集中講義） 受講人数により開講または受講できない場合がある
専門	選択	特別理工学実習	1～2			1	1	1	3～5年で2単位履修できる

別表第3

環境エネルギー工学コース

(令和8～9年度入学生に適用/令和9年度現在専攻科第1～第2学年に在学する者に適用)

区分		授 業 科 目	単位数	1年		2年		備 考	
				前期	後期	前期	後期		
一 般 科 目	必修	英語特論Ⅰ	2	2				現代地理学またはデザイン論のいずれかを修得しなければならない	
		英語特論Ⅱ	2			2			
		技術英語	2	2					
		工学倫理	2	2					
	選択	現代地理学	2				2		
		デザイン論	2			2			
専 門 科 目	コース専門科目	選択	熱エネルギー変換工学	2	2			この中から10単位以上を修得しなければならない	
			流体エネルギー変換工学	2	2				
			電磁エネルギー変換工学	2	2				
			エネルギー工学	2			2		
			電力制御工学	2	2				
			環境と生態系	2	2				
			環境安全工学	2			2		
			環境生物学	2	2				
	専門共通科目	必修	知的財産	2			2		この中から6単位以上を修得しなければならない
			選択	原子核物理学	2				
		量子力学		2			2		
		熱統計物理学		2			2		
		線形代数学		2	2				
		数理解析学		2			2		
		ネットワーク		2			2		
		プログラム言語		2	2				
		化学データ解析		2	2				
		結晶化学		2	2				
		生物工学		2	2				
		専門展開科目	必修	専攻科研究Ⅰ	4	4			
	専攻科研究Ⅱ			6				6	
	専攻科実験			2	2				
	学外実習			11		11			
	実践工学演習			1		1			
	選択		光計測工学	2	2				この中から10単位以上を修得しなければならない
			ロボット制御工学	2				2	
			ヒューマンインタフェイス	2			2		
			システム制御工学	2				2	
			音響工学	2			2		
			集積回路設計	2				2	
			電磁波工学	2			2		
			ディジタル通信	2				2	
			画像処理工学	2	2				
			組込みソフトウェア	2	2				
			信号処理	2	2				
			アルゴリズムとデータ構造	2				2	
			有限オートマトンと言語理論	2				2	
			オブジェクト指向プログラム	2				2	
			計算力学	2			2		
			情報化学	2			2		
			構造有機化学	2			2		
			医用工学	2				2	
			食品機能学	2				2	
	遺伝資源工学		2			2			
	化学反応論		2			2			
一般科目開講単位数			12	6	0	4	2		
専門科目(コース専門)開講単位数			16	12	0	4	0		
専門科目(専門共通)開講単位数			22	10	0	10	2		
専門科目(専門展開)開講単位数			66	15	11	22	18		
開設単位数合計			116	43	11	40	22		

(注) 開講時期は、変更されることがある。

新機能材料工学コース

(令和8～9年度入学生に適用/令和9年度現在専攻科第1～第2学年に在学する者に適用)

区分		授 業 科 目	単位数	1年		2年		備 考			
				前期	後期	前期	後期				
一 般 科 目	必修	英語特論Ⅰ	2	2				現代地理学またはデザイン論のいずれかを修得しなければならない			
		英語特論Ⅱ	2			2					
		技術英語	2	2							
		工学倫理	2	2							
	選択	現代地理学	2				2				
		デザイン論	2			2					
専 門 科 目	コース専門科目	選択	材料強度学	2	2			この中から10単位以上を修得しなければならない			
			固体物理学	2	2						
			工業材料	2	2						
			誘電体材料工学	2	2						
			電子材料工学	2	2						
			材料分子設計学	2	2						
			複合材料工学	2			2				
			材料無機化学	2			2				
	専門共通科目	必修	知的財産	2			2		この中から6単位以上を修得しなければならない		
			原子核物理学	2				2			
		選択	量子力学	2			2				
			熱統計物理学	2			2				
			線形代数学	2	2						
			数理解析学	2			2				
			ネットワーク	2			2				
			プログラム言語	2	2						
			化学データ解析	2	2						
			結晶化学	2	2						
			生物工学	2	2						
			必修	専攻科研究Ⅰ	4	4					
				専攻科研究Ⅱ	6					6	
				専攻科実験	2	2					
				学外実習	11		11				
				実践工学演習	1		1				
	専門展開科目	選択		光計測工学	2	2				この中から10単位以上を修得しなければならない	
				ロボット制御工学	2				2		
				ヒューマンインタフェイス	2			2			
				システム制御工学	2				2		
				音響工学	2			2			
			集積回路設計	2				2			
			電磁波工学	2			2				
			デジタル通信	2				2			
			画像処理工学	2	2						
			組込みソフトウェア	2	2						
			信号処理	2	2						
			アルゴリズムとデータ構造	2				2			
			有限オートマトンと言語理論	2				2			
			オブジェクト指向プログラム	2				2			
			計算力学	2			2				
			情報化学	2			2				
			構造有機化学	2			2				
			医用工学	2				2			
	食品機能学	2				2					
	遺伝資源工学	2			2						
	化学反応論	2			2						
一般科目開講単位数			12	6	0	4	2				
専門科目(コース専門)開講単位数			16	12	0	4	0				
専門科目(専門共通)開講単位数			22	10	0	10	2				
専門科目(専門展開)開講単位数			66	15	11	22	18				
開設単位数合計			116	43	11	40	22				

(注) 開講時期は、変更されることがある。

医療福祉機器開発工学コース

(令和8～9年度入学生に適用/令和9年度現在専攻科第1～第2学年に在学する者に適用)

区分		授 業 科 目	単位数	1年		2年		備 考	
				前期	後期	前期	後期		
一 般 科 目	必修	英語特論Ⅰ	2	2				現代地理学またはデザイン論のいずれかを修得しなければならない	
		英語特論Ⅱ	2			2			
		技術英語	2	2					
		工学倫理	2	2					
	選択	現代地理学	2				2		
		デザイン論	2			2			
専 門 科 目	コース専門科目	選択	医療品質安全工学	2	2			この中から10単位以上を修得しなければならない	
			解剖生理学	2	2				
			医用生体工学	2	2				
			医療機器工学	2	2				
			生体計測工学	2	2				
			生体情報工学	2	2				
			福祉介護方法論	2			2		
			生体材料工学	2			2		
	専門共通科目	必修	知的財産	2			2		この中から6単位以上を修得しなければならない
			選択	原子核物理学	2				
		量子力学		2			2		
		熱統計物理学		2			2		
		線形代数学		2	2				
		数理解析学		2			2		
		ネットワーク		2			2		
		プログラム言語		2	2				
		化学データ解析		2	2				
		結晶化学		2	2				
		生物工学	2	2					
	専門展開科目	必修	専攻科研究Ⅰ	4	4				
			専攻科研究Ⅱ	6			6		
			専攻科実験	2	2				
			学外実習	11		11			
			実践工学演習	1	1				
			選択	光計測工学	2	2			
		ロボット制御工学		2				2	
		ヒューマンインタフェース		2			2		
		システム制御工学		2				2	
		音響工学		2			2		
		集積回路設計		2				2	
		電磁波工学		2			2		
		ディジタル通信		2				2	
		画像処理工学		2	2				
		組込みソフトウェア		2	2				
		信号処理		2	2				
		アルゴリズムとデータ構造		2				2	
		有限オートマトンと言語理論		2				2	
		オブジェクト指向プログラム		2				2	
		計算力学		2			2		
		情報化学		2			2		
		構造有機化学		2			2		
		医用工学		2				2	
		食品機能学		2				2	
		遺伝資源工学	2			2			
		化学反応論	2			2			
一般科目開講単位数			12	6	0	4	2		
専門科目(コース専門)開講単位数			16	12	0	4	0		
専門科目(専門共通)開講単位数			22	10	0	10	2		
専門科目(専門展開)開講単位数			66	15	11	22	18		
開設単位数合計			116	43	11	40	22		

(注) 開講時期は、変更されることがある。

環境エネルギー工学コース

先端融合テクノロジー連携教育プログラム

(令和8～9年度入学生に適用/令和9年度現在専攻科第1～第2学年に在学する者に適用)

区分		授 業 科 目	単位数	1年		2年		備 考			
				前期	後期	前期	後期				
一般科目	必修	英語特論Ⅰ	2	2				豊橋技科大開講科目「英語Ⅲ」に代替可			
		英語特論Ⅱ	2	2				豊橋技科大開講科目「英語Ⅳ」に代替可			
		技術英語	2	2							
		工学倫理	2	2				豊橋技科大開講科目「技術者倫理」に代替可			
	選択	現代地理学	2		2			現代地理学またはデザイン論のいずれかを修得しなければならない			
デザイン論		2	2								
専門科目	コース専門科目	選択	熱エネルギー変換工学	2	2			この中から6単位以上を修得しなければならない。 * 豊橋技科大開講科目「環境科学」に代替可			
			流体エネルギー変換工学	2	2						
			電磁エネルギー変換工学	2	2						
			エネルギー工学	2	2						
			電力制御工学	2	2						
			環境と生態系	2	2						
			環境生物学	2	2						
		必修	環境安全工学*	2	2						
	専門共通科目	選択	知的財産	2			2		豊橋技科大開講科目「知的財産」に代替可		
			原子核物理学	2		2			対応する豊橋技科大開講科目と合わせて、この中から6単位以上を修得しなければならない		
			量子力学	2	2						
			熱統計物理学	2	2						
			線形代数学	2	2						
			数理解析学	2	2						
			ネットワーク	2	2						
			プログラム言語	2	2						
			化学データ解析	2	2						
			結晶化学	2	2						
			生物工学	2	2						
	実践力強化科目	必修	卒業研究ⅠA	4	4						
			卒業研究ⅠB	4	4						
			卒業研究ⅡA	4			4				
			卒業研究ⅡB	4			4				
			先端融合テクノロジーセミナーⅠ	2	2						
			先端融合テクノロジーセミナーⅡ	2			2				
			課題解決実務訓練A	2	2						
		選択	課題解決実務訓練B	2		2					
	専門展開科目	選択	光計測工学	2	2				対応する豊橋技科大開講科目と合わせて、この中から10単位以上を修得しなければならない		
			ロボット制御工学	2		2					
			ヒューマンインタフェイス	2	2						
			システム制御工学	2		2					
			音響工学	2	2						
			集積回路設計	2		2					
			電磁波工学	2	2						
			デジタル通信	2		2					
			画像処理工学	2	2						
			組込みソフトウェア	2	2						
			信号処理	2	2						
			アルゴリズムとデータ構造	2		2					
			有限オートマトンと言語理論	2		2					
			オブジェクト指向プログラム	2		2					
			計算力学	2	2						
			情報化学	2	2						
			構造有機化学	2	2						
			医用工学	2		2					
			食品機能学	2		2					
			遺伝資源工学	2	2						
			化学反応論	2	2						
一般科目開講単位数			12	10	2	0	0				
専門科目(コース専門)開講単位数			16	16	0	0	0				
専門科目(専門共通)開講単位数			22	18	2	2	0				
専門科目(実践力強化科目)開講単位数			24	7	7	5	5				
専門科目(専門展開)開講単位数			42	24	18	0	0				
開設単位数合計			116	107	60	7	5				

新機能材料工学コース

先端融合テクノロジー連携教育プログラム

(令和8～9年度入学生に適用/令和9年度現在専攻科第1～第2学年に在学する者に適用)

区分		授 業 科 目	単位数	1年		2年		備 考		
				前期	後期	前期	後期			
一 般 科 目	必修	英語特論Ⅰ	2	2				豊橋技科大開講科目「英語Ⅲ」に代替可		
		英語特論Ⅱ	2	2				豊橋技科大開講科目「英語Ⅳ」に代替可		
		技術英語	2	2						
		工学倫理	2	2				豊橋技科大開講科目「技術者倫理」に代替可		
	選択	現代地理学	2		2			現代地理学またはデザイン論のいずれかを修得しなければならない		
		デザイン論	2	2						
専 門 科 目	コース専門科目	材料強度学	2	2				この中から6単位以上を修得しなければならない		
		固体物理学	2	2						
		工業材料	2	2						
		誘電体材料工学	2	2						
		電子材料工学	2	2						
		材料分子設計学	2	2						
		複合材料工学	2	2						
		材料無機化学	2	2						
	専門共通科目	必修	環境安全工学	2	2				豊橋技科大開講科目「環境科学」に代替可	
		選択	知的財産	2			2		豊橋技科大開講科目「知的財産」に代替可	
			原子核物理学	2		2			対応する豊橋技科大開講科目と合わせて、この中から6単位以上を修得しなければならない	
			量子力学	2	2					
			熱統計物理学	2	2					
			線形代数学	2	2					
			数理解析学	2	2					
			ネットワーク	2	2					
			プログラム言語	2	2					
			化学データ解析	2	2					
			結晶化学	2	2					
			生物工学	2	2					
	実践力強化科目	必修	卒業研究ⅠA	4	4					
			卒業研究ⅠB	4	4					
			卒業研究ⅡA	4			4			
			卒業研究ⅡB	4			4			
			先端融合テクノロジーセミナーⅠ	2	2					
			先端融合テクノロジーセミナーⅡ	2			2			
			課題解決実務訓練A	2	2					
		選択	課題解決実務訓練B	2		2				
		専門展開科目	選択	光計測工学	2	2				対応する豊橋技科大開講科目と合わせて、この中から10単位以上を修得しなければならない
				ロボット制御工学	2		2			
				ヒューマンインタフェイス	2	2				
				システム制御工学	2		2			
				音響工学	2	2				
				集積回路設計	2		2			
				電磁波工学	2	2				
	デジタル通信			2		2				
	画像処理工学			2	2					
	組込みソフトウェア			2	2					
	信号処理			2	2					
	アルゴリズムとデータ構造			2		2				
	有限オートマトンと言語理論			2		2				
	オブジェクト指向プログラム			2		2				
	計算力学			2	2					
	情報化学			2	2					
	構造有機化学			2	2					
	医用工学			2		2				
	食品機能学			2		2				
	遺伝資源工学			2	2					
	化学反応論	2	2							
一般科目開講単位数			12	10	2	0	0			
専門科目(コース専門)開講単位数			16	16	0	0	0			
専門科目(専門共通)開講単位数			24	20	2	2	0			
専門科目(実践力強化科目)開講単位数			24	7	7	5	5			
専門科目(専門展開)開講単位数			42	24	18	0	0			
開設単位数合計			118	77	29	7	5			

医療福祉機器開発工学コース

先端融合テクノロジー連携教育プログラム

(令和8～9年度入学生に適用/令和9年度現在専攻科第1～第2学年に在学する者に適用)

区分		授 業 科 目	単位数	1年		2年			
				前期	後期	前期	後期		
一 般 科 目	必修	英語特論Ⅰ	2	2				豊橋技科大開講科目「英語Ⅲ」に代替可	
		英語特論Ⅱ	2	2				豊橋技科大開講科目「英語Ⅳ」に代替可	
		技術英語	2	2					
		工学倫理	2	2				豊橋技科大開講科目「技術者倫理」に代替可	
	選択	現代地理学	2		2			現代地理学またはデザイン論のいずれかを修得しなければならない	
デザイン論		2	2						
専 門 科 目	コース専門科目	選択	医療品質安全工学	2	2			この中から6単位以上を修得しなければならない	
			解剖生理学	2	2				
			医用生体工学	2	2				
			医療機器工学	2	2				
			生体計測工学	2	2				
			生体情報工学	2	2				
			福祉介護方法論	2	2				
			生体材料工学	2	2				
	専門共通科目	必修	環境安全工学	2	2			豊橋技科大開講科目「環境科学」に代替可	
			選択	知的財産	2		2		豊橋技科大開講科目「知的財産」に代替可
		原子核物理学		2		2		対応する豊橋技科大開講科目と合わせて、この中から6単位以上を修得しなければならない	
		量子力学		2	2				
		熱統計物理学		2	2				
		線形代数学		2	2				
		数理解析学		2	2				
		ネットワーク		2	2				
		プログラム言語		2	2				
		化学データ解析		2	2				
		結晶化学		2	2				
		生物工学	2	2					
	実践力強化科目	必修	卒業研究ⅠA	4	4				
			卒業研究ⅠB	4	4				
			卒業研究ⅡA	4		4			
			卒業研究ⅡB	4		4			
			先端融合テクノロジーセミナーⅠ	2	2				
			先端融合テクノロジーセミナーⅡ	2		2			
			課題解決実務訓練A	2	2				
		選択	課題解決実務訓練B	2		2			
		専門展開科目	選択	光計測工学	2	2			対応する豊橋技科大開講科目と合わせて、この中から10単位以上を修得しなければならない
				ロボット制御工学	2		2		
				ヒューマンインタフェイス	2	2			
				システム制御工学	2		2		
				音響工学	2	2			
				集積回路設計	2		2		
				電磁波工学	2	2			
				デジタル通信	2		2		
				画像処理工学	2	2			
	組込みソフトウェア			2	2				
	信号処理			2	2				
	アルゴリズムとデータ構造			2		2			
	有限オートマトンと言語理論			2		2			
	オブジェクト指向プログラム			2		2			
	計算力学			2	2				
	情報化学			2	2				
	構造有機化学			2	2				
	医用工学			2		2			
	食品機能学			2		2			
遺伝資源工学	2			2					
化学反応論	2	2							
一般科目開講単位数			12	10	2	0	0		
専門科目(コース専門)開講単位数			16	16	0	0	0		
専門科目(専門共通)開講単位数			24	20	2	2	0		
専門科目(実践力強化科目)開講単位数			24	7	7	5	5		
専門科目(専門展開)開講単位数			42	24	18	0	0		
開設単位数合計			118	77	29	7	5		

沼津工業高等専門学校学則の一部改正について

○改正の趣旨、理由

入学者が求める学修と、改組前の 5 学科が提供する学修とのミスマッチを軽減し、かつ地域産業界の求める D X 人材の輩出へ対応するため、令和 9 年 4 月 1 日より 5 学科を 1 学科 4 学類に改組することとした学科改組案を受け、学則上の条文の見直しを図るものである。

○改正の概要

(詳細は別紙のとおり)

・第 7 条

学科、学級数、入学定員及び収容定員について、5 学科（機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、制御情報工学科、物質工学科）としている記載を、1 学科 4 学類（先端理工学科及び数理情報工学類、機械システム工学類、電気電子システム工学類、化学生命工学類）の内容に条文を改正する。また、各学類の募集人員、学類に設置するコース及びプログラムについて新たに条文を追加する。

なお、改組前の 5 学科の在學生に係る経過措置については、附則に記載する。

・第 23 条

転科に係る記載については、一つの学科に再編されることから、転「学類」に条文を改正する。

○施行期日

令和 9 年 4 月 1 日（予定）

沼津工業高等専門学校学則 新旧対照表（案）

新	旧																																
沼津工業高等専門学校学則（改正案）	沼津工業高等専門学校学則																																
制定 昭和 3 7 年 4 月 1 日 最終改正 令和 年 月 日	制定 昭和 3 7 年 4 月 1 日 最終改正 令和 8 年 3 月 5 日																																
(略)	(略)																																
第 3 章 学科、学級数、入学定員及び教職員	第 3 章 学科、学級数、入学定員及び教職員																																
第 7 条 学科・学級数、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。	第 7 条 学科・学級数、入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。																																
<table><tr><th>学 科</th><th>学級数</th><th>入学定員</th><th>収容定員</th></tr><tr><td>先 端 理 工 学 科</td><td>5</td><td>2 0 0 人</td><td>1, 0 0 0 人</td></tr></table>	学 科	学級数	入学定員	収容定員	先 端 理 工 学 科	5	2 0 0 人	1, 0 0 0 人	<table><tr><th>学 科</th><th>学級数</th><th>入学定員</th><th>収容定員</th></tr><tr><td>機 械 工 学 科</td><td>1</td><td>4 0 人</td><td>2 0 0 人</td></tr><tr><td>電 気 電 子 工 学 科</td><td>1</td><td>4 0 人</td><td>2 0 0 人</td></tr><tr><td>電 子 制 御 工 学 科</td><td>1</td><td>4 0 人</td><td>2 0 0 人</td></tr><tr><td>制 御 情 報 工 学 科</td><td>1</td><td>4 0 人</td><td>2 0 0 人</td></tr><tr><td>物 質 工 学 科</td><td>1</td><td>4 0 人</td><td>2 0 0 人</td></tr></table>	学 科	学級数	入学定員	収容定員	機 械 工 学 科	1	4 0 人	2 0 0 人	電 気 電 子 工 学 科	1	4 0 人	2 0 0 人	電 子 制 御 工 学 科	1	4 0 人	2 0 0 人	制 御 情 報 工 学 科	1	4 0 人	2 0 0 人	物 質 工 学 科	1	4 0 人	2 0 0 人
学 科	学級数	入学定員	収容定員																														
先 端 理 工 学 科	5	2 0 0 人	1, 0 0 0 人																														
学 科	学級数	入学定員	収容定員																														
機 械 工 学 科	1	4 0 人	2 0 0 人																														
電 気 電 子 工 学 科	1	4 0 人	2 0 0 人																														
電 子 制 御 工 学 科	1	4 0 人	2 0 0 人																														
制 御 情 報 工 学 科	1	4 0 人	2 0 0 人																														
物 質 工 学 科	1	4 0 人	2 0 0 人																														
2 前項に規定する学科に、次の学類を設け、学類の募集人員は次のとおりとする。																																	
(1) 数理情報工学類 8 0 人																																	
(2) 機械システム工学類 4 0 人																																	
(3) 電気電子システム工学類 4 0 人																																	
(4) 化学生命工学類 4 0 人																																	

3 前項第1号に規定する学類に、第4学年から次のコースを設ける。 （1）<u>情報システム工学コース</u> （2）<u>数理情報科学コース</u> 4 前二項に規定する学類及びコースの選択、決定方法等については、別に定める。 5 前三項の規定にかかわらず、校長が教育上有益と認めるときは、異なる学類及びコースの学生をもって学級を編成することができる。 6 第2項第2号から第4号までに規定する学類に、第3学年から次のプログラムを設ける。 （1）<u>知能システム創造プログラム</u> （2）<u>情報技術融合プログラム</u> （3）<u>先端科学プログラム</u> 7 前項に規定するプログラムの選択、決定方法等については、別に定める。 （略） 第5章 入学、<u>転学類</u>、休学、退学及び転学 （略） 第23条 <u>転学類</u>を希望する者があるときは、校長は、学年の始めにおいて、選考の上第3学年までに限り、<u>転学類</u>を許可することがある。 （略） 附 則 この学則は、令和8年4月1日から施行する。 附 則 1 この学則は、令和9年4月1日から施行する。	2 前項の規定にかかわらず、校長が教育上有益と認めるときは、異なる<u>学科</u>の学生をもって学級を編成することができる。 （略） 第5章 入学、<u>転科</u>、休学、退学及び転学 （略） 第23条 <u>転科</u>を希望する者があるときは、校長は、学年の始めにおいて、選考の上第3学年までに限り、<u>転科</u>を許可することがある。 （略） 附 則 この学則は、令和8年4月1日から施行する。
--	---

- 2 機械工学科、電気電子工学科、電子制御工学科、制御情報工学科及び物質工学科は、改正後の沼津工業高等専門学校学則第7条の規定にかかわらず、令和9年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 前項の適用者に係る教育課程等については、改正後の学則第13条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 令和8年度以前の入学者に係る転科については、改正前の沼津工業高等専門学校学則第23条の規定及び別に定めるところによる。

別表第1～第3(PDF) 教育課程

別表第1～第3(PDF) 教育課程

○沼津工業高等専門学校運営会議規則

(昭和 49. 2. 25 制定)

最終改正 令和 6. 9. 11

(目的)

第 1 条 沼津工業高等専門学校の管理運営の円滑を図るため、運営会議（以下「会議」という。）をおく。

(組織)

第 2 条 会議は、校長が主宰し、次の構成員をもって組織する。

- (1) 副校長及び校長補佐
- (2) 学科長及び教養科長
- (3) 事務部長
- (4) その他校長が必要と認める者

(審議事項)

第 3 条 会議は、校長の諮問に応じ、次の事項を審議する。

- (1) 教育研究における基本方針に関すること。
- (2) 学校の管理運営に関すること。
- (3) 入学者選抜に関すること。
- (4) 学校の経営及びそのための指示に関すること。
- (5) その他必要と認められるもの。

(会議)

第 4 条 会議は毎月 1 回校長がこれを招集することを原則とする。ただし、必要あるときは、臨時にこれを招集するものとする。

2 校長に事故あるときは、副校長がその職務を代行する。

(構成員以外の者の会議への出席)

第 5 条 校長が必要と認めたときは、構成員以外の者に会議への出席を求め、その意見をきくことができる。

(専門委員会)

第 6 条 会議に必要な応じて専門委員会を置くことがある。

(会議の事務)

第7条 会議の事務は、総務課において処理する。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この規則は、昭和49年2月25日から施行する。

附 則

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成16年4月14日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規則は平成21年4月17日から施行し、平成20年8月1日から適用する。

附 則

1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。

2 沼津工業高等専門学校アドミッション委員会規則（平成19年3月14日制定）、沼津工業高等専門学校入試広報小委員会規則（平成25年9月11日制定）、沼津工業高等専門学校入試実行小委員会規則（平成25年9月11日制定）及び沼津工業高等専門学校専攻科入試実行小委員会規則（平成25年9月11日制定）は、廃止する。

附 則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和6年9月11日から施行する。